

平成 29 年度

佐渡市教育委員会

佐渡学センター一年報

第 9 号

佐渡市教育委員会 社会教育課 佐渡学センター

この年報の著作権は佐渡市教育委員会に帰属します。ただし、画像などは、所有者や執筆者に著作権があるものがあります。著作権法上の「私的利用」や「引用」の範囲を超えて使用する場合には、佐渡学センターまでお問い合わせください。ただし、掲載資料の使用に際して発生した障害には、佐渡市教育委員会は一切の責任を負いません。

巻 頭

佐渡学センター長 高藤一郎平

早いもので、前号からもう一年が過ぎました。

いつも皆様にお世話になっていすことに感謝申し上げます。

今年度早々に、安全性確保不備と施設の老朽化による盗難事件がありました。大切な資料をお預かりし、活用を目指さなければならない立場にある者として、この事件は大きな衝撃でありました。

皆様にご迷惑をおかけする事件を引き起こしたことを深くお詫びいたします。今後は施設の安全性確保、資料の保存・活用について職員共々努力致します。

さて、今年度は、「佐渡ゆかりの人間国宝四人展」として企画展を開催いたしました。過去にも数度は人間国宝三人展とか個人展は開催しておりますが、四人展は初めてのことです。

これは鋳金作家で、平成 5 年(1993)重要無形文化財保持者（人間国宝）「鋳金」に認定された、齋藤明（大正 9 年(1920)～平成 25 年(2013)）先生の父 齋藤鏡明が佐渡 相川出身であり、齋藤明先生の遺族の方から佐渡での展覧会を希望されていたことから、四人展として開催されました。「吹分（ふきわけ）」という新たな技法による作品はすばらしいものでした。

また、本年度 3 月に開催されました、佐渡市博物館協議会の審議で、今後の市立博物館運営の方向性が一定の結論を得ました。

数多くの博物館、資料館、収蔵施設などの管理、運営を一本化し身近でわかりやすい展示、学習、収集、調査などの博物館業務を市民の皆様とともに進めて行きたいと思ひます。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻をお願いいたしまして巻頭といたします。

目 次

刊行にあたって

I.	佐渡学センター設置までの経緯	1
II.	管理運営の状況	5
III.	文化庁補助事業	20
IV.	佐渡学センター事業報告	
	1. 展示事業	21
	2. 収集保管事業	29
	3. 調査研究事業	30
	4. 普及教育事業	35
	5. 支援・助成事業	69
	6. 連携事業	69
	7. イベント（共催事業）	70
	8. 刊行物	70
V.	関係団体	71
VI.	日誌抄	72

I. 佐渡学センター設置までの経緯

沿 革

【平成 16 年度】

佐渡伝統文化研究所を設置することを佐渡市長が表明する。

【平成 17 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会生涯学習課に設置した。

準備室室長 木下 勉
情報指導員 池田 雄彦
準備室係長 北見 継仁
主 事 山口 忠明
主 事 渡邊 智美

佐渡市長の平成 17 年度『施政方針』で、「研究所の基本理念」として、「佐渡の歴史と文化を再認識し、有形無形の歴史・文化資産を保護継承し、子々孫々まで残していくことは現代に生きる私たちの責務であると考えます。そのため、島内の研究者や伝統技術・技能の伝承者を集め、貴重な資料の散逸を防ぎ、専門の研究機関を設置することで、各地に残る貴重な資産・資料把握、保存整理研究が行える『佐渡伝統文化研究所』（仮称）の設立を行い伝統文化の継承に努めます。」と表明する。

【平成 18 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会文化振興課内に設置した。

準備室室長 菊池 克己
情報指導員 池田 雄彦
準備室係長 北見 継仁
主 事 鹿取 渉

【平成 19 年度】

佐渡伝統文化研究所を佐渡市教育委員会世界遺産・文化振興課内に設置した。設置場所は、梅津

の佐渡市中央公民館から両津湊の佐渡市役所両津支所 3 階に移動する。

所 長 石瀬 佳弘
次 長 高藤 一郎平
情報指導員 池田 雄彦
係 長 北見 継仁
主 事 滝川 邦彦

設立趣旨を、「佐渡は、古くから島外の文化を受け入れながら島独自の文化を形成し、貴重な民俗芸能や伝統的な行事なども継承されている。また、多様な地形や植生・地質など、自然環境にも恵まれている。このような文化遺産や自然環境は島内外の人々にとって大きな魅力となっているが、十分な調査や保存が行われているとは言えない状況にあった。

このような貴重な文化遺産の価値を島民に十分理解してもらい、その調査と保存・活用を図るべく、佐渡伝統文化研究所準備室を設置してその任に当たって来た。本年度から本格的に活動を目指して正式な『佐渡伝統文化研究所』を設立した。今後は、貴重な資料の散逸を防ぎ、データを集積して広く情報を発信しながら島民の皆さんは勿論、佐渡を訪れる多くの方々に利用して頂けるように努めたいと考えている。」として掲げ、活動を開始した。

【平成 20 年度】

重点施策として、「佐渡伝統文化研究所の体制づくりの推進及び佐渡の歴史・文化・自然に関する調査・研究とデータベース化、デジタルアーカイブ化の構築」とした。

所 長 石瀬 佳弘
次 長 北見 継仁
情報指導員 池田 雄彦

主 事 滝川 邦彦
研究員補助 八木 千恵子

【平成 21 年度】

研究所の機能を拡充強化することによって、地域学の拠点化を図るために、本年度から「佐渡伝統文化研究所」の名称を「佐渡学センター」に改称し、組織体制として新たに文化・学芸係を置き、佐渡島内の博物館・資料館管理運営及び学芸業務も統合した。また事務所も両津郷土博物館内に設置した。

＜重点施策＞

○伝統芸能を始め、歴史・文化遺産の保存・継承、活用は、重要な課題であり、平成 21 年度は市民と協力して、基本方針となる文化振興ビジョン策定に取り組む。

○伝統と魅力ある地域文化の保存・継承を目的として、佐渡の歴史・文化・自然等に関する研究や情報発信、資料のデータベース化を行う。

○地形や地質など自然遺産が豊富な島である「佐渡」を、国内はもとより広く世界に紹介できるよう、大学等の関係機関との連携を図りながら、ジオパークとして世界認定を受けるための準備を進める。

所 長 石瀬 佳弘
次 長 北見 継仁
情報指導員 池田 雄彦
文化・学芸係長 野口 敏樹
主 事 山口 忠明
主 事 宇治 美徳
主 事 須藤 洋行
主 事 滝川 邦彦

【平成 22 年度】

＜重点施策＞

○佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の

刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。

○伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。

○ジオパーク認定を目指した取り組みを進める。

○新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

所 長 渡邊 剛忠
次 長 北見 継仁
情報指導員 池田 雄彦
文化・学芸係長 野口 敏樹
主 事 山口 忠明
主 事 須藤 洋行
主 事 滝川 邦彦

【平成 23 年度】

＜重点施策＞

○佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。

○伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。

○新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

所 長 渡邊 剛忠
次 長 本間 俊一郎
情報指導員 池田 雄彦
文化・学芸係長 野口 敏樹
主 任 滝川 邦彦
主 任 須藤 洋行
主 事 山口 忠明
雇 員 本間 裕亨（研究員補助員）

【平成 24 年度】

＜重点施策＞

○佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の

刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。

○伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。

○新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

所 長 渡邊 剛忠

次 長 本間 俊一郎

学芸専門員 北見 継仁

情報指導員 池田 雄彦

文化・学芸係長 野口 敏樹

主 任 滝川 邦彦

主 任 須藤 洋行

主 事 山口 忠明

雇 員 本間 裕亨（研究員補助員）

【平成 25 年度】

＜重点施策＞

○佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。

○行政改革における施設の統廃合が急務であり、博物館・資料館の管理体制の見直しを図る。

○伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。

○新潟大学人文学部との協働事業を推進する。

所 長 渡邊 剛忠

次 長 藤井 甚栄

学芸専門員 北見 継仁

情報指導員 池田 雄彦

主 任 滝川 邦彦

主 任 須藤 洋行

主 事 山口 忠明

雇 員 本間 裕亨（研究員補助員）

【平成 26 年度】

＜重点施策＞

○施設（博物館・資料館）における収蔵品の保存・活用や指定文化財等の保管管理の徹底と収蔵資料のデータベース化を推進する。

○行政改革における施設の統廃合を推し進め、博物館・資料館の今後の管理体制の見直し、効率的に運営を図る。

○佐渡博物館を佐渡市の総合的な博物館と位置づけ、三資産の普及啓発活動と連携しながら、学校教育での活用、市民にとって親しみやすい博物館づくりに努める。

所 長 渡邊 剛忠

次 長 藤井 甚栄

情報指導員 池田 雄彦

主 任 中川 扇美

主 任 滝川 邦彦

主 任 山口 忠明

主 事 中川 優子

主 事 小田 和也

雇 員 本間 裕亨（研究補助員）

雇 員 伊藤 文恵（佐渡博物館）

雇 員 本間 裕徳

（相川郷土博物館金泉収蔵庫）

【平成 27 年度】

＜重点施策＞

○ 各施設（博物館・資料館）における資料の受入れ及び保存管理を適切に行うとともに、資料の統一台帳のデータベース化を推進する。

○ 佐渡博物館を中心としたそれぞれの博物館・資料館の今後のあり方と資料の活用方法について再検討する。

○ 佐渡博物館を佐渡市の総合的な博物館と位置づけ、三資産の普及啓発活動と連携しながら、学校教育での活用と市民にとって親しみやすい博物館づくりを目指した佐渡博物館活用計画を策定する。

所 長 高藤 一郎平

次 長 深野 まゆ子

主	任	中川	扇美	
主	任	滝川	邦彦	
主	事	中川	優子	
主	事	小田	和也	
雇	員	本間	裕徳	(佐渡博物館)
雇	員	伊藤	文恵	(佐渡博物館)
雇	員	荒貴	泰斗	(佐渡博物館)

【平成 28 年度】

＜重点施策＞

- 佐渡博物館を中心としたそれぞれの博物館・資料館の今後のあり方と資料の活用方法について再検討する。
- 各施設の資料の受入れ及び保存管理を適切に行うとともに、資料の統一台帳のデータベース化を推進する。
- 佐渡の歴史文化資源の保存の観点から、伝統芸能の活性化につながる事業を実施し、その魅力の再発見と団体間の連携につなげる。
- 佐渡博物館中庭に移築された旧浅島家の修繕工事を実施するとともに、改修後の活用方法を佐渡市博物館協議会の部会の中で検討し、郷土愛の醸成につなげる。

所	長	高藤	一郎平	
次	長	深野	まゆ子	
係	長	本間	克彦	
主	任	土屋	仁	
主	任	鶴間	基宏	
主	任	滝川	邦彦	
主	事	中川	優子	
主	事	関根	吉則	
主	事	小田	和也	
雇	員	本間	裕徳	(佐渡博物館)
雇	員	伊藤	文恵	(佐渡博物館)
雇	員	山本	佳奈	(佐渡博物館)

Ⅱ．管理運営の状況

【平成 29 年度 佐渡学センター運営方針】

- 佐渡博物館を中心としたそれぞれの博物館・資料館の今後のあり方について協議を行う。
- 各施設の資料の受入れ及び保存管理を適切に行うとともに、資料の統一台帳のデータベース化を推進する。
- 佐渡の歴史文化資源の保存の観点から、伝統芸能の活性化につながる事業を実施し、その魅力の再発見と団体間の連携につなげる。

【博物館・資料館運営方針】

＜重点施策＞

- 佐渡博物館中庭に移築された旧浅島家住宅の登録有形文化財への申請を行い、登録された後は活用を検討し、郷土愛の醸成につなげる。
- 佐渡ゆかりの人間国宝四人展を開催し、卓越した工芸技術と優れた作品を多くの来館者に鑑賞してもらい、地元の偉人教育へつなげる。

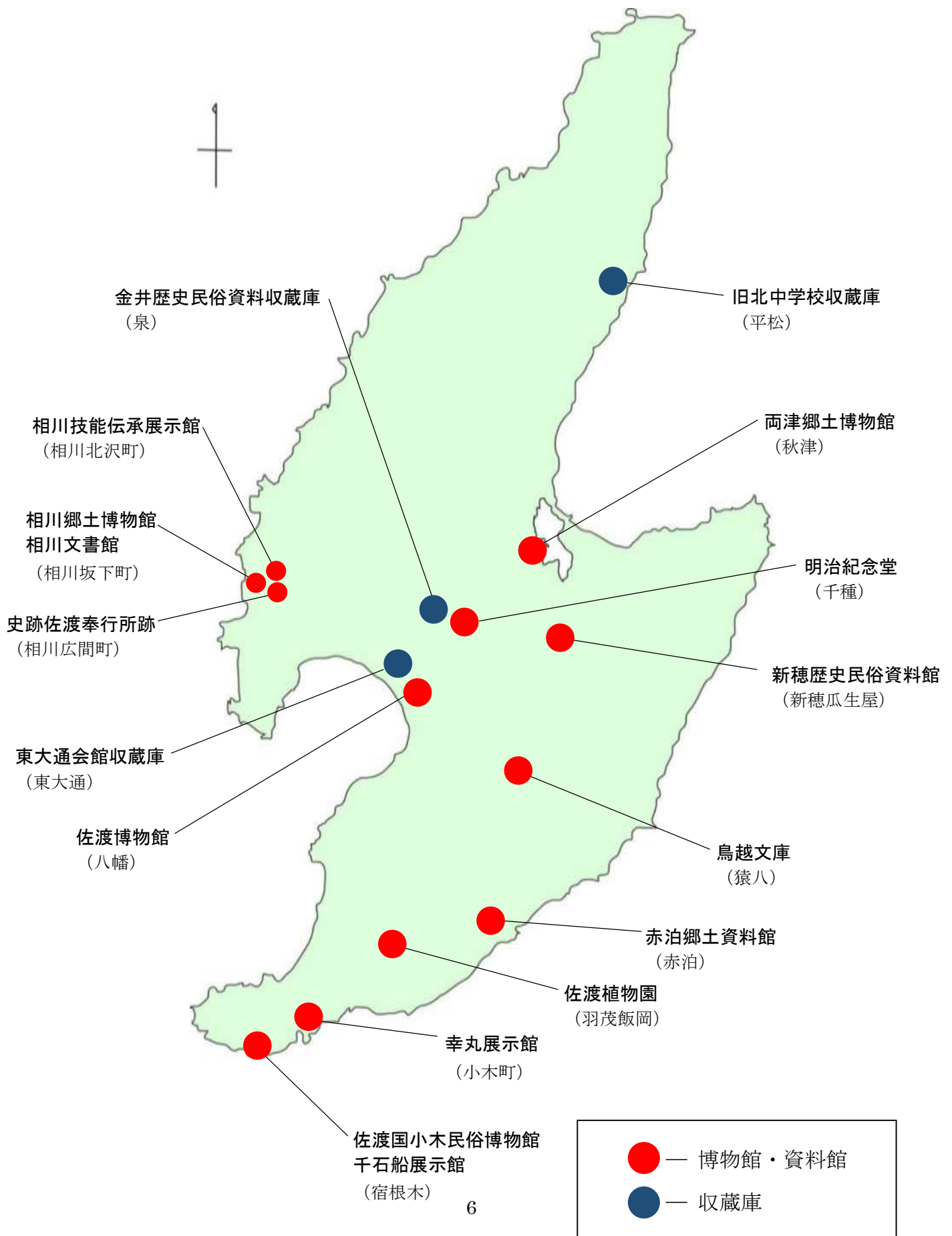
＜運営方針＞

- 佐渡金銀山に関連した歴史や文化をもつ小学校を対象に、郷土を学ぶ機会を提供し、郷土愛の醸成につなげる。
- 伝統文化等保存支援事業（補助事業）
佐渡島内に伝承されている伝統芸能等の後継者・保持団体の活動に対し補助事業を実施、伝統文化の保存・伝承・活用を図る。
- 佐渡の歴史・文化・自然等に関するレファレンス業務の推進を図る。
- 博物館・資料館管理の徹底を図る。
- 博物館の企画展示の計画的な開催を目指す。
- 博物館への多様なニーズに対応し、学校教育や大学・世界遺産・ジオパーク・GIAHS の政策と連携を図りながら資料展示の充実を図る。

【組織】

所長	高藤	一郎平
次長	藤井	靖明
係長	本間	克彦
主任	鶴間	基宏
主任	土屋	仁
主任	滝川	邦彦（学芸員）
主任	中川	優子
主任	石渕	裕作
主事	関根	吉則（学芸員）
雇員	本間	裕徳（佐渡博物館）
雇員	伊藤	文恵（佐渡博物館）
雇員	宇田	美智子（相川郷土博物館）
雇員	小林	尚子（相川郷土博物館）
雇員	和田	健（相川郷土博物館）
雇員	佐々木	妙子（佐渡国小木民俗博物館）
雇員	和泉	めぐみ（佐渡国小木民俗博物館）
雇員	岩崎	千代美（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	山川	由紀江（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	水上	祐子（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	河村	厚子（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	浅井	真由美（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	岩見	絵美（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	山本	加奈子（相川技能伝承展示館）
雇員	佐々木	さゆり（相川技能伝承展示館）
雇員	山本	悦子（相川技能伝承展示館）
雇員	小杉	栄枝（相川技能伝承展示館）
雇員	寺尾	フジ子（相川技能伝承展示館）

佐渡市立博物館・資料館・収蔵庫など



施設の状況等

【佐渡博物館】

開館年度 昭和 32 年度



<施設概要>

所在地 佐渡市八幡 2041 番地

敷地面積 6,647.9 m²

建物総面積 1,632.05 m²

構造・階数 鉄筋コンクリート造 2 階建

展示室 856.16 m²

収蔵庫 107.79 m²

図書室 25.69 m²

会議室 33.77 m²

事務室 67.96 m²

その他 540.68 m²

駐車場 大型バス 3 台・普通車 20 台

<総事業費>

不明

備考 平成 25 年 11 月 30 日までは財団法人の運営。平成 26 年 4 月 1 日から佐渡市が運営している。

【両津郷土博物館】

事業名 社会教育施設等整備費補助金

建設年度 昭和 56 年度



<施設概要>

所在地 佐渡市秋津 1596 番地

敷地面積 49,590 m²

建築面積 1,373.59 m²

構造・階数 鉄筋コンクリート造 2 階建

地下 1 階

駐車場 約 50 台

<総事業費>

515,912 千円

備考 来館時は予約が必要。

【相川郷土博物館】

事業名 相川小学校 80 周年記念事業

開館年度 昭和 31 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市相川坂下町 20 番地

敷地面積 (総面積) 3,150 m²

建築面積 (総面積) 1,055.16 m²

構造・階数 木造平屋建 (一部 2 階建)

御料局佐渡支庁跡 (2 階建) 172.24 m²

展示室 (1 階) 244.89 m²

特別展示室・準備室 84.60 m²

事務室・その他 117.19 m²

有田八郎記念館 116.76 m²

収蔵庫 198.00 m²

名誉町民資料館 55.48 m²

駐車場 相川技能伝承展示館と共用 約 20 台

＜総事業費＞

不明

備考 明治 22 年建築。相川小学校 80 周年記念事業として収集した歴史・鉱山・民俗資料を、鉱山縮小によって空いた鉱山事務所を利用して郷土博物館として昭和 31 年 7 月に開館した。

【相川文書館】

建設年度 昭和 51 年度 (移築)



＜施設概要＞

所在地 佐渡市相川坂下町 20 番地

(相川郷土博物館敷地内)

建築面積 66 m²

構造・階数 木造平屋建

駐車場 相川技能伝承展示館と共用 約 20 台

＜総事業費＞

移築費 4,000 千円

備考 大正 2 年に「相川銀行」の行舎として、羽田町に建てられた。その後第四銀行合併を経て、相川町に寄附され、昭和 51 年に相川文書館として現在の場所に移築された。

【相川技能伝承展示館】

事業名 地域バイタリティ育成事業全体計画

建設年度 昭和 60～61 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市相川北沢町 2 番地

敷地面積 2,271 m²

建築面積 712.17 m²

構造・階数 鉄筋平屋建 (一部 2 階建)

陶芸実習室 109.31 m²

裂織り実習室 93.57 m²

資料展示室 109.31 m²

窯小屋・登り窯 49.68 m²

工房 102.69 m²

ホール 137.75 m²

事務室・その他 109.86 m²

駐車場 相川郷土博物館と共用 約 20 台

＜総事業費＞

81,532 千円

【史跡佐渡奉行所跡】

事業名 佐渡金山遺跡佐渡奉行所保存整備事業

建設年度 平成 7～18 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市相川広間町 1 番地 1

敷地面積 18,542 m²

建築面積 1,541.6 m²

構造・階数 木造平屋建

御物見 34.7 m²

御役所 990.0 m²

御門番所 32.0 m²

御普請方役所 140.4 m²

勝場 344.5 m²

駐車場 大型バス 3 台、普通車 約 20 台

＜総事業費＞

2,387,984 千円

【佐渡国小木民俗博物館（本館）】

開館年度 昭和 47 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市宿根木 270 番地 2

敷地面積 (総面積) 11,192 m²

(本館) 9,868.96 m²

延床面積 2,930 m²

構造・階数 木造平屋建

駐車場 10 台

＜総事業費＞

19 万円

備考 大正 9 年に建てられた木造校舎をそのまま利用し、昭和 47 年 6 月に開館した博物館。

【佐渡国小木民俗博物館（新館）】

事業名 農村地域農業構造改善事業

(自然活用型)

建設年度 昭和 56～59 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市宿根木 270 番地 2

建築面積 627.52 m²

構造・階数 鉄筋コンクリート平屋建

駐車場 旧館と共用 10 台

<総事業費>

87,194 千円

【千石船展示館】

事業名 山村振興等農林漁業特別対策事業

建設年度 平成 8～9 年度



<施設概要>

所在地 佐渡市宿根木 270 番地 2

建築面積 695.52 m²

構造・階数 木造平屋建

<総事業費>

135,366 千円

【海運資料館】

事業名 離島開発総合センター建設事業

建設年度 昭和 54～55 年度



<施設概要>

所在地 佐渡市小木町 1941 番地 1

(南佐渡離島開発総合センター内の 2 階)

敷地面積 1,428 m²

建築面積 1,616.13 m²

延床面積 500 m²

構造・階数 鉄筋コンクリート 3 階建
(一部中 4 階)

駐車場 10 台

<総事業費>

236,199 千円

備考 平成 22 年度から佐渡考古資料館の資料
も加えリニューアルオープンした。

※平成 29 年 11 月 30 日閉館

【幸丸展示館】

事業名 日本宝くじ協会助成事業

町づくり特別対策事業

建設年度 昭和 59 年度



<施設概要>

所在地 佐渡市小木町 1941 番地 1

敷地面積 1,837 m²

建築面積 303.65 m²

延床面積 206 m²

構造・階数 鉄筋造り 1 棟

駐車場 10 台

<総事業費>

52,000 千円

【佐渡植物園】

建設年度 昭和 23 年度



<施設概要>

所在地 佐渡市羽茂飯岡 550 番地 6

敷地面積 59,671 m²

(総面積 65,040 m²)

建築面積

管理棟 35 m²

作業棟 19.87 m²

温室 58.32 m²

延床面積 55 m²

構造・階数 鉄筋造り 1 棟

<総事業費>

不明

【新穂歴史民俗資料館】

建設年度 昭和 62 年度



<施設概要>

所在地 佐渡市新穂瓜生屋 492

敷地面積 2,348 m²

建築面積 922 m²

構造・階数 鉄筋コンクリート造り 2 階建

駐車場 41 台

<総事業費>

250,094 千円

【金井歴史民俗資料収蔵庫】

事業名 国宝重要文化財等保存施設整備費補助金（国）
文化保存事業費補助金（県）

建設年度 昭和 50 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市泉甲 375 番地 1

敷地面積 約 2,000 m²

建築面積

収蔵庫 144 m²

展示館 136 m²

構造・階数 鉄筋コンクリート造り平屋建

＜総事業費＞

15,010 千円

【明治記念堂（開導館）】

建設年度 明治 35 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市千種丙 154 番地

敷地面積 1,055.2 m²

建築面積 72.24 m²

構造・階数 木造平屋建

＜総事業費＞

明治記念堂 不明

開導館 4,100 千円（昭和 50 年復元）

備考 来館時は予約が必要。

【赤泊郷土資料館】



＜施設概要＞

所在地 佐渡市赤泊 2458 番地

（赤泊総合文化会館内）

敷地面積 33,000 m²

建築面積 1,184 m²

延床面積 3,260 m²（うち志長官 約 650 m²）

構造・階数 鉄筋コンクリート 4 階建

（資料館は 1 階及び 2 階の一部）

駐車場 30 台

＜総事業費＞

727,885 千円（資料館のみでは不明）

3 平成29年度 入館者の状況

	佐渡博物館	両津郷土博物館	相川郷土博物館	相川技能伝承展示館	史跡佐渡奉行所跡	佐渡国小木民俗博物館	海運資料館	新穂歴史民俗資料館	金井歴史民俗資料収蔵庫	赤泊郷土資料館	(佐渡植物園)	総計
4月	360	0	105	64	1,025	818	79	212	0	30	(240)	2,693
5月	1,187	4	388	316	2,854	2,300	163	243	0	31	(405)	7,486
6月	797	19	1,999	2,430	4,580	2,185	101	285	0	27	(300)	12,423
7月	1,177	15	490	561	2,524	2,691	241	230	0	15	(405)	7,944
8月	1,429	5	369	400	3,375	3,671	265	381	27	28	(310)	9,950
9月	1,115	171	339	363	2,072	1,952	106	247	0	47	(240)	6,412
10月	1,043	39	123	59	1,735	1,737	114	603	0	46	(367)	5,499
11月	476	0	113	78	1,467	860	65	626	0	23	(240)	3,708
12月	144	0	13	58	45	62	0	0	0	9	(62)	331
1月	156	0	8	36	60	50	0	0	0	4	(62)	314
2月	145	15	4	61	104	120	0	0	0	28	(56)	477
3月	228	0	63	67	536	349	0	182	0	9	(382)	1,434
入館者 年度計	8,257	268	4,014	4,493	20,377	16,795	1,134	3,009	27	297	(3,069)	58,671

※総計には、佐渡植物園入場者を含みません。

平成16年度	(20,225)	2,772	4,497	7,844	26,317	20,523	1,477	2,801	263	594		67,088
17年度	(20,031)	3,021	4,354	7,535	25,690	19,902	1,309	2,308	315	812		65,246
18年度	(16,248)	3,086	3,599	6,800	29,195	18,247	1,363	2,607	153	493		65,543
19年度	(14,417)	2,681	2,755	6,239	22,880	17,334	1,413	2,944	176	414		56,836
20年度	(13,470)	3,162	4,925	6,279	20,648	15,038	1,460	3,445	123	282		55,362
21年度	(12,621)	1,838	5,883	5,609	22,105	19,136	1,237	2,859	0	313	(4,360)	58,980
22年度	(10,566)	2,482	6,134	5,890	20,224	18,338	1,241	2,314	74	189	(3,650)	56,886
23年度	(10,072)	2,406	6,893	6,793	19,077	16,957	1,513	2,942	0	168	(2,830)	56,749
24年度	(10,660)	3,634	6,402	6,944	18,407	17,219	1,472	2,946	0	254	(2,860)	57,278
25年度	(8,492)	2,212	6,055	6,207	18,568	16,624	1,157	2,693	0	308	(3,230)	53,824
26年度	10,906	239	5,547	5,511	20,445	19,198	1,224	2,315	0	396	(2,840)	65,781
27年度	9,656	261	4,893	5,689	19,878	21,777	1,227	3,183	0	266	(3,067)	66,830
28年度	10,786	235	5,208	5,728	21,191	18,793	1,137	4,308	1	357	(3,137)	67,744
29年度	8,257	268	4,014	4,493	20,377	16,795	1,134	3,009	27	297	(3,069)	58,671

※総計には、佐渡植物園入場者を含みません。

※平成21年度以降は、入館者数に無料入館者を含む（佐渡博物館は26年度より含む）

団体・視察受入れ状況

【佐渡博物館】

(◆) は島内の保育園・小中学校等

月日	団体・視察者名	人数
4月17日	新潟交通新人研修	2
21日	教職員新人研修	16
25日	新潟交通大阪事務所研修	3
5月2日	◆両津小学校	75
	◆両津吉井小学校	28
	◆新穂小学校	63
9日	◆加茂小学校	34
12日	◆高千小学校	34
25日	◆赤泊中学校	11
6月14日	東山の下小学校	20
23日	新通小学校	32
28日	関原小学校	19
7月5日	◆佐和田中学校	54
19日	国分寺市議会視察	7
31日	石川県能美市議会視察	3
8月15日	ジオパーク推進室視察	2
21日	文化庁視察	2
30日	◆赤泊小学校	15
31日	◆羽茂小学校	26
	長岡市議会市民クラブ	8
9月11日	◆畑野小学校	31
20日	そよかぜ	14
21日	そよかぜ	14
25日	◆金泉小学校	56
27日	◆中等教育学校	6
10月6日	大正大学視察	3
7日	建築士会	20
10日	ジオパーク市民講座	17
12日	◆八幡保育園	45
17日	小木地区公民館高齢者学級	14
18日	世界遺産推進課	4
11月8日	東北大学声楽OB	25
11日	ジオパーク推進室	20
20日	あいらんど新穂	31
24日	八幡館職員視察	3
27日	あいらんど畑野	29
12月8日	◆特別支援学校	23
1月17日	佐渡保育専門学校	12
	合計	841

【両津郷土博物館】

月日	団体・視察者名	人数
9月8日	◆両津小学校	156
12日	◆河崎小学校	17
10月3日	◆松ヶ崎小学校	23
2月8日	◆河崎小学校	15
3月2日	◆畑野小学校	29
	合計	240

【相川郷土博物館】

月日	団体・視察者名	人数
5月11日	◆金井小学校	34
25日	◆赤泊中学校	11
	日和山小学校	59
31日	下山小学校／燕東小学校	64
6月5日	紫竹山小学校	59
7日	早通小学校／月潟小学校／新津第二小学校／月岡小学校／黒川小学校／和納小学校	161
8日	小中川小学校／吉田小学校	126
9日	真砂小学校／水沢小学校／刈羽小学校／安田小学校	214
10日	◆沢根小学校	24
13日	鳥屋野小学校	35
14日	関屋小学校／水原小学校	46
15日	山辺里小学校	31
16日	仲之島小学校／上山小学校／加治川小学校／丸山小学校／五十沢小学校	79
17日	入間市視察	5
20日	巻北小学校／二葉小学校	72
21日	御免町小学校／桃山小学校／蓮野小学校	72
22日	鏡淵小学校／五泉小学校／新津第一小学校／亀田小学校	155
23日	竹尾小学校／山古志小学校／新通小学校／曾野木小学校	129
28日	上所小学校／猿橋小学校	77
29日	東曾野木小学校／内野小学校／中野山小学校／岩船小学校	146
7月4日	富曾亀小学校	15

6 日	大形小学校／東山小学校	119
7 日	五泉南小学校／新道小学校／中通小学校	78
14 日	白山小学校／柿小学校	53
8 月 23 日	県埋蔵文化センター視察	3
29 日	世界遺産推進課視察	2
31 日	川東小学校	43
9 月 7 日	田尻小学校	38
8 日	大通小学校／山の下小学校	112
10 月 17 日	◆相川幼稚園	16
11 月 15 日	◆さわた幼稚園	10
12 月 20 日	世界遺産推進課視察	2
合計 2,090		

【史跡佐渡奉行所跡】

月日	団体・視察者名	人数
4 月 10 日	佐渡観光協会南支部	2
18 日	世界遺産推進課	2
	みどり会	1
20 日	◆南佐渡中学校	31
22 日	世界遺産推進課	8
27 日	佐渡観光協会	2
	観光振興課	2
	新潟県総務管理部長	6
28 日	交通大阪支店（研修）	3
5 月 2 日	◆新穂小学校	64
	伊米ヶ崎小学校	11
11 日	◆金井小学校	33
12 日	砂山・平林小学校	27
22 日	世界遺産推進課	2
26 日	和泉小学校	24
6 月 1 日	旭小学校	15
	瀬波小学校	12
	しただの郷学園	17
2 日	岡方第二小学校	39
	新関小学校	19
	金屋小学校	25
	京ヶ瀬小学校	60
6 日	前川小学校	40
7 日	木崎小学校	66
	笹山小学校	19
	山田小学校	108
	朝日みどり・小川小学校	41
	牡丹山小学校	21

8 日	片貝小学校	35
	月岡小学校	61
	本田小学校	17
	木山小学校	13
	分田小学校	17
	真砂小学校	69
	神山小学校	22
9 日	栄中央小学校	52
	湯之谷小学校	55
13 日	上関小学校	12
14 日	宮内小学校	82
	東山ノ下小学校	96
	鳥屋野小学校	140
15 日	東青山小学校	96
	結小学校	130
	川西地区合同小学校	59
	安塚小学校	32
	岡南地区連合小学校	59
	小出小学校	74
	佐々木小学校	24
16 日	上山小学校	75
	明治小学校	16
17 日	新飯田小学校	16
	五十沢小学校	26
21 日	米子小学校	23
	豊田小学校	72
	横越小学校	27
	赤石小学校	13
	桃山小学校	38
22 日	妙高高原北小学校	23
	藤塚小学校	24
	橋田小学校	25
	庄瀬小学校	19
	早通南小学校	116
	亀田小学校	46
	新津第一小学校	27
	枇杷島小学校	53
23 日	一ノ木戸小学校	108
	小林小学校	35
	保内小学校	67
	新通小学校	33
28 日	宇賀地小学校	10
	上所小学校	45
29 日	東曾野木小学校	51

	入広瀬小学校	12
	内野小学校	40
30 日	北辰小学校	48
	越前小学校	23
	中野山小学校	85
	比角小学校	94
7 月 5 日	大島小学校	21
	三郷小学校	8
	◆相川小学校	22
6 日	栄小学校	23
	東小学校	61
	万代長嶺小学校	23
	愛宕小学校	22
7 日	五泉南小学校	29
12 日	糸魚川小学校	94
13 日	栖吉小学校	24
	堀之内小学校	62
21 日	下川西小学校	21
	近藤組教育実習	2
24 日	多摩大学聖ヶ丘中学校	38
31 日	視察	7
8 月 2 日	教育視察	16
29 日	世界遺産推進課	2
30 日	観光振興課	15
	◆赤泊小学校	15
9 月 5 日	文化庁視察	7
6 日	下条小学校	25
7 日	村松小学校	64
	新潟小学校	108
8 日	巢本小学校	16
15 日	大瀨小学校	17
27 日	◆佐渡中等教育学校	45
10 月 10 日	大正大学	10
13 日	観光振興課	27
20 日	世界遺産推進課	12
11 月 8 日	企画課視察	2
17 日	スイーツ企画モニターツアー	6
24 日	新潟県視察	3
25 日	スイーツ企画（台湾旅行関係者）	32
29 日	新潟市現地視察	7
12 月 24 日	世界遺産推進課	1
1 月 31 日	世界遺産推進課	3
2 月 20 日	世界遺産推進課	6
24 日	世界遺産推進課	23

3 月 6 日	◆真野第一保育園	36
8 日	筑波大学学生見学視察	1
		合計 4, 091

【相川技能伝承展示館】

月日	団体・視察者名	人数
4 月 20 日	◆南佐渡中学校	33
5 月 9 日	◆加茂小学校	27
12 日	砂山小学校	21
	須原小学校	17
25 日	日和山小学校	56
	村上小学校	16
31 日	下山小学校	32
	燕東小学校	40
6 月 1 日	山潟小学校	73
	胎内小学校	52
	瀬浪小学校	43
2 日	岡方第二小学校	35
	小須戸小学校	42
	出雲崎小学校	38
	新関小学校	16
	赤塚小学校	39
	神納小学校	19
3 日	笹岡小学校	34
5 日	紫竹山小学校	58
7 日	早通小学校	21
	月潟小学校	27
	新津第二小学校	68
	月岡小学校	17
	黒川小学校	22
	和納小学校	40
8 日	大巻小学校	16
	栄北小学校	24
	小中川小学校	71
	中条小学校	18
	吉田小学校	63
9 日	水沢小学校	39
	真砂小学校	64
	刈羽小学校	38
	安田小学校	63
13 日	大蒲原小学校	13
	関川小学校	8
	鳥屋野小学校	39
14 日	関屋小学校	22

	水原小学校	25
15 日	山倉小学校	38
	山辺里小学校	27
16 日	中之島小学校	28
	上山小学校	31
	加治川小学校	38
	丸山小学校	34
	五十沢小学校	23
20 日	巻北小学校	45
	二葉小学校	41
21 日	御免町小学校	45
	桃山小学校	23
	蓮野小学校	53
22 日	鏡淵小学校	76
	五泉小学校	44
	新津第一小学校	24
	亀田小学校	44
23 日	竹尾小学校	38
	山古志小学校	7
	藤塚小学校	20
	保内小学校	65
	新通小学校	49
	曾野木小学校	62
24 日	小合小学校	9
28 日	猿橋小学校	44
	上所小学校	56
29 日	東曾野木小学校	46
	内野小学校	38
	中野山小学校	36
	五泉東小学校	30
	岩船小学校	40
30 日	津川小学校	16
7 月 4 日	富曾亀小学校	28
6 日	東小学校	56
	万代長嶺小学校	23
	大形小学校	88
7 日	五泉南小学校	27
	新道小学校	35
	中通小学校	14
	◆第二岩の平園	23
10 日	◆伝統文化と環境福祉の専門学校	11
12 日	川口小学校	44
13 日	栖吉小学校	22
	堀之内小学校	58

14 日	白山小学校	32
	柿小学校	13
21 日	下川西小学校	18
8 月 31 日	川東小学校	38
9 月 7 日	下条小学校	21
	田尻小学校	75
8 日	大通小学校	71
	山の下小学校	36
14 日	両川小学校	16
15 日	大淵小学校	22
27 日	◆佐渡中等教育学校	45
2 月 9 日	◆七浦小学校	5
10 日	佐和田中学校 PTA	38
15 日	田尻小学校	82
16 日	大淵小学校	17
	両川小学校	24
	田沢小学校	36
17 日	(株) ことりや	25
28 日	◆佐渡中等教育学校	39
29 日	千手小学校	31
	橘小学校	10
	上野小学校	11
11 月 12 日	吉井小学校子ども会	12
20 日	小原流	74
2 月 8 日	◆七浦小学校	8
3 月 10 日	◆相川小学校	21
		合計 3,808

【佐渡国小木民俗博物館】

月日	団体・視察者名	人数
4 月 21 日	◆高千中学校	18
24 日	◆相川中学校	39
26 日	デスティネーションアジアジャパン	98
27 日	N R T 170424	34
5 月 2 日	◆両津小学校	45
13 日	観光振興課	11
19 日	J T B GMT	62
	◆松ヶ崎小学校	21
24 日	ワールド旅行	38
	湯之古屋くらぶ	17
29 日	日新トラベル	28
6 月 1 日	吉田地区合同小学校	20
	新関小学校	16
	燕東小学校	7

2 日	赤泊地区公民館	19
4 日	グローバル	20
5 日	中央労働金庫友の会	34
6 日	坂井輪小学校	40
	大鷲小学校	8
7 日	月岡小学校	39
8 日	堀越小学校	22
	大野小学校	6
10 日	入間市国際交流協会	25
14 日	水原小学校	20
	東山の下小学校	27
15 日	築地小学校	37
	関屋小学校	21
	丸山小学校	44
	待鶴荘	9
20 日	さんぼく北小学校	15
21 日	横越小学校	31
	三川小学校	20
	桃山小学校	20
22 日	小林小学校	31
	新津第一小学校	35
23 日	新通小学校	40
	枇杷小学校	48
27 日	野畑水利組合	17
	昌原寺	43
30 日	文化財室	7
7 月 2 日	(株)タビックスジャパン	16
4 日	大島小学校	18
6 日	西予市農業委員会	17
	万代長嶺小学校	18
	愛宕小学校	25
7 日	青木島小学校	100
13 日	長野豊野西小学校	59
17 日	東京都国分寺市	12
24 日	聖ヶ丘中学校	37
8 月 18 日	クラブツーリズム	15
19 日	ワールド航空サービス	15
23 日	新潟県観光協会	15
26 日	◆新穂トキっ子保育園	26
9 月 27 日	◆真野小学校	44
28 日	照源寺	21
29 日	◆赤泊小学校	80
10 月 7 日	豊鉄観光サービス	27
11 日	◆佐渡高校相川分校	19

14 日	F M新潟佐渡日帰りツアー	16
16 日	大正大学	9
18 日	阪急交通社	52
19 日	県庁	8
25 日	敷島楽友会	18
	イオンリテールワーカーズユニオン	15
26 日	豊鉄観光サービス	41
28 日	静鉄観光サービス	20
	目友会	34
11 月 9 日	佐和田退職者会	19
13 日	祥聯旅遊 71111	31
19 日	祥後旅行社	36
21 日	祥聯旅遊 71119	36
22 日	祥聯旅遊 71120	35
3 月 31 日	畑野商工会松ヶ崎支部	21
1 月 9 日	農業政策課	6
16 日	地域振興課	10
2 月 16 日	◆小木小学校	14
21 日	◆羽茂小学校	25
23 日	◆真野小学校	43
	合計 2, 185	

【海運資料館】

※記録なし

【新穂歴史民俗資料館】

月日	団体・視察者名	人数
4 月 18 日	◆佐渡総合高校	5
31 日	◆新穂中学校	8
6 月 7 日	荻川小学校	40
8 日	大野小学校	20
10 日	◆新穂小学校	34
13 日	上関小学校	9
15 日	三用小学校	15
22 日	青山小学校	25
30 日	◆新穂小学校	15
7 月 2 日	小比叡農家組合	26
28 日	世界遺産推進課	2
9 月 11 日	◆新穂小学校	113
27 日	◆真野小学校	38
28 日	文化財審議委員会	4
29 日	文化財審議委員会	6
10 月 18 日	◆新穂中学校	23

2月7日	◆真野小学校	45
3月1日	◆行谷小学校	10
8日	◆沢根小学校	14
15日	◆佐渡総合高等学校	6
	合計 413	

【赤泊郷土資料館】

月日	団体・視察者名	人数
4月14日	◆赤泊保育園	14
10月12日	◆小木保育園	23
12月15日	◆羽茂高校	4
2月8日	◆赤泊小学校	14
	合計 55	

Ⅲ. 文化庁補助事業

文化庁「平成 29 年度 文化庁 文化芸術振興費補助金（文化遺産総合活用推進事業）」を受けて補助事業を実施した。

【普及啓発事業】（文化振興係）

イベント「第 2 回佐渡民謡の祝祭」の開催

日 時	平成 29 年 10 月 8 日（日） 午前 10 時～午後 4 時
主 催	佐渡民謡活性化実行委員会
会 場	史跡佐渡奉行所跡
来場者数	約 750 名
事 業 費	3,360 千円

佐渡民謡の普及啓発・次世代継承を目的とし、島内 15 民謡団体、相川小学校、佐渡出身民謡歌手小林よしえ氏などが出演する佐渡民謡堪能イベントを開催した。

来場者の満足度も高く、大変好評なイベントとして定着しつつあることから、次世代継承に繋がる期待が大きい事業となっている。

【情報発信事業】（文化振興係）

佐渡の伝統芸能を網羅的に紹介するホームページを 2 年計画で製作する。初年度はホームページ素材（島内 24 カ所の祭事等）の撮影やホームページデザインの製作を行った。

事業費 5,171 千円

IV. 佐渡学センター事業報告

1. 展示事業

【佐渡博物館】

<常設展示>

事業趣旨

昭和 32 年 9 月 1 日に佐渡の郷土資料を収蔵・展示する総合博物館として開館。島内の学術団体、研究者の協力・支援のもと、調査研究・収集保管・展示公開等の事業を展開してきた。

平成 5 年には増改築を行い、2 階土田麦僊素描展示室（現 2 階企画展示室）と 1 階企画展示室（現 1 階佐渡金銀山展示室）を新設した。

平成 25 年 11 月 30 日に運営主体の財団法人が解散し、一時休館。

平成 26 年 4 月 1 日に佐渡市立博物館として、「世界農業遺産（GIAHS）」・世界遺産暫定リストに登録された「佐渡金銀山」・「日本ジオパーク」に認定された佐渡ジオパークの三つの遺産を発信すると共に、佐渡の自然・歴史・文化の調査研究・公開・発信を進め、佐渡学を学べる総合博物館として、再出発した。（土地は八幡館の所有。建物は新潟交通株式会社の所有。寄贈資料・購入資料として財団法人が所有していた資料は佐渡市の所有となった。）

所蔵資料は約 7,000 件あり、そのうち土田麦僊資料は素描等を含め約 500 点ある。

展示構成

常設展示は、2 階自然・考古・歴史・民俗展示室で行っており、佐渡ジオパークのコンセプトである「金とトキでたどる 3 億年の旅とひとの暮らし」の題で佐渡全体の自然・歴史・文化をまとめて紹介している。

同じく 2 階の美術・工芸展示室は企画展示場となっている。無名異焼・蠟型鑄金などの伝統工芸

作品や佐渡出身の美術作家の作品などの展示を行っている。

1 階では佐渡金銀山展示室を設け、絵図面・採掘精錬道具・出土品・絵葉書等を用いて佐渡金銀山遺跡の紹介・案内・歴史解説を行っている。1 階ホールには、「佐渡と人物」・佐渡市が推進する三つの遺産のパネル、佐渡に伝わる民謡の紹介 DVD 上映コーナー、ジオパーク情報コーナー、クジラの化石等がある。

中庭はロックガーデン（佐渡産出の岩石 50 種）となっていて、赤松林の中を散策できる。中庭の両脇に、佐渡の民家と土蔵（いずれも移築、安全確保のため建物内立入り禁止）・古墳時代の竪穴住居と高床式倉庫（いずれも復元、安全確保のため建物内立入り禁止）がある。定期観光や、案内を希望する入館者に対応するため、簡易的なガイドマニュアルを作成し、職員が即座に対応できるようにした。

また、平成 27 年度からは、展示されている内容から出題するクイズブックを開始した。主に小学生を対象として想定している。難易度ごとに初級・中級・上級・博士コースの 4 種類を作成し、希望する人が挑んでいる。

常設展示の保守点検・補修

中庭にあるロックガーデンの案内パネルを更新した。併せて、岩石の配置がわかる園内マップを作成し、看板にして中庭の入口に設置した。

中庭に移築し展示していた古民家の老朽化が著しいため、平成 27 年度から修復工事を行っている。27・28 年度に茅葺屋根の葺き替えを実施した。

29 年度には、古民家・土蔵を国の登録有形文化

財にするために必要な建物調査を実施した。

佐渡の自然・歴史・文化を紹介する博物館・子ども達の学びに活用できる博物館・佐渡が次世代に伝えたい3資産(佐渡金銀山・佐渡ジオパーク・世界農業遺産「トキと共生する佐渡の里山」)を紹介する施設として、館内外及び周辺的美観や見学環境を維持管理するため、保守点検・補修を行っている。

資料展示替え

佐渡市立佐渡博物館として再出発するのに合わせて、2階で行っていた佐渡金銀山展示を1階に移動し、新たに美術・工芸関係の展示スペースとして、2階で人間国宝3名の作品など美術・工芸を中心に展示した。

<企画展示>

「宮本常一写真で読む佐渡」

会期 平成29年4月1日(土)～6月20日(日)

主催 佐渡博物館

内容 日本を代表する民俗学者である宮本常一が撮影した、昭和30～40年代の佐渡の観光に注目した写真をパネル展示した特別写真展。入館者数2,121人。

「佐渡ゆかりの人間国宝四人展」

会期 平成29年7月7日(金)～10月31日(火)

主催 佐渡博物館

内容 佐渡出身の佐々木象堂、三浦小平二、伊藤赤水に佐渡にゆかりのある齋藤明を加えた四人の人間国宝の貴重な作品を一堂に集め、卓越した美術・工芸品を展示した特別展。特別展初日には本間琢斎氏による作品解説も行われた。入館者数4,622人。

「佐渡奉行所赴任絵図ー岡松奉行の佐渡赴任」

会期 平成29年11月11日(土)

～平成30年2月12日(月)

主催 佐渡博物館

内容 佐渡博物館に寄託された資料である「佐渡奉行赴任絵図」から、江戸時代末期における宿場の様子や当時の港湾や街道の繁栄ぶりを見ていただける寄託資料公開展。入館者数632人。

「佐渡の美術・工芸」

会期 平成29年4月1日(土)～6月25日(日)

平成29年11月11日(土)～平成30年

2月12日(月)

平成30年2月19日(月)～3月14日(水)

主催 佐渡博物館

内容 主に佐渡出身の重要無形文化財保持者(人間国宝)3人の作品及び佐渡出身または佐渡ゆかりの美術工芸作家の作品を展示した。会場には作者の略歴を記した配布資料を置いて、作品展示だけでなく作家の紹介もできるよう配慮した。入館者数2,932人。

「宮本常一写真で読む佐渡②」

会期 平成30年3月19日(土)～5月31日(木)

主催 佐渡博物館

内容 日本を代表する民俗学者である宮本常一が撮影した、昭和30～40年代の佐渡の観光に注目した写真をパネル展示した特別写真展の第二弾。入館者数112人。

※3月末まで

【両津郷土博物館】

<常設展示>

平成26年4月1日より休館。事前申込みにより開館し、館内案内、資料閲覧の要請に対応した。

事業趣旨

昭和53年に制定された「加茂湖総合開発計画」により、湖に半島となって突き出た樹崎一帯が「レ

クリエーション保存地区」として位置づけられた。そのなかで、市民の憩いの場、また生涯学習の一拠点として、昭和 57 年に開館した博物館。メインテーマは「島のくらしと文化」としており、漁撈用具などの民俗資料を中心に 3 万点以上の資料が収蔵されている。

展示構成

常設展示は、それぞれ「海」、「くらしと木」、「祭」をテーマとした、第 1～第 3 展示室で構成されている。民俗資料を中心に歴史資料がそれを補完する形での展示を行っている。

常設展示の保守点検・補修

生涯学習施設、また市民の憩いの場として、館内外及び周辺的美観を維持管理するため、保守点検・補修を行っている。

【相川郷土博物館】

<常設展示>

事業趣旨

御料局佐渡支庁跡に三菱佐渡鉱山の所長室及び本部事務室として建築され、鉱山の大幅縮小に伴い、鉱山資料と共に三菱より相川町へ譲渡され、昭和 31 年に開館した博物館。資料展示は主に鉱山資料を中心に約 800 点を展示している。鉱山以外の資料として、「佐渡海府の紡織用具と製品」（国指定重要有形民俗文化財）等がある。

展示構成

相川地区は金銀山と共に生きてきた地域であり、鉱山に関係した資料を展示し、そのほか考古資料や遊女関連資料、昭和 10 年代に外務大臣を務めた有田八郎氏の資料を展示したコーナーがある。

体験コーナーとして水上輪を設置し、実際に回して鉱山労働の厳しさと、当時の技術を体感できる。平成 28 年度からは、佐渡博物館に引き続き、

相川郷土博物館版のクイズブックを開始し、小学生を主な対象とし、希望者に配付している。

順路案内

建物本体が博物館として建築されたものでないため、スムーズに展示物の見学ができるようになっていない。そのため、案内看板を設置し、受付でも説明するようにしている。

常設展示の保守点検・補修

建物の一部および敷地が国指定史跡となっていることから、史跡保存のため周辺的美観等の維持を中心に行っている。また、建物が古いため、建物の補修や来館者の安全に対して保守点検を随時実施し、平成 29 年度は周辺の草刈りと軽微な建物補修、消防用設備等総合点検を実施した。

展示資料替え

佐渡博物館 1 階の佐渡金銀山展示室に展示物・収蔵物を出展しているため、代替え品として鉱山機械の木型等を展示している。

【相川文書館】

<常設展示>

事業趣旨

昭和 45 年から始まった町史編纂事業であるが、博物館が非常に手狭なため、昭和 48 年に旧第四銀行相川支店（大正 2 年建築）を改築する際に旧相川町へ建物を譲渡してもらい、昭和 50 年に完全移築し、町史編纂の作業とその資料の公開を目的として開館した。平成 23 年 3 月、条例廃止と同時に機関廃止した。

展示構成

基本的に展示物はなく、町史編纂時の貴重資料が保管管理されている。平成 27 年度には、それらの貴重資料の目録を作成した。

常設展示の保守点検・補修

相川郷土博物館と一体のものとして、保守管理に含めている。

【相川技能伝承展示館】

<常設展示>

事業趣旨

地域バイタリティー育成事業を活用して、地域の歴史や伝統技術の学習機会を拡大するため、一般・児童・生徒・学生を対象とした陶芸実習や裂き織り体験の受入れを主目的に昭和 61 年に開館した。

展示構成

展示室では島内の窯元・裂き織り愛好者の作品を集めて展示している。また、体験学習のメニューにはないが、文弥人形も展示している。裂き織りについては、裂き織り実習室が自由に出入りでき、見学できるようになっている。

常設展示の保守点検・補修

体験設備として作業する建物であることから、機器の整備や安全管理を常に行い、特に窯での陶芸作品焼成等があるため、火災に対する注意喚起を徹底しており、毎年消防用設備等総合点検を実施している。

展示資料替え

展示している陶芸作品は寄託品で、窯元から変更の依頼があった場合に作品を変更している。

また、裂き織り作品販売コーナーに隣接して、商品サンプル的な陶芸作品を展示するスペースを設けて、出品している。

【史跡佐渡奉行所跡】

<常設展示>

事業趣旨

平成 6 年に佐渡金山遺跡（佐渡奉行所跡）が国の史跡として指定されたことを受け、平成 13 年に「御役所」建物を江戸期の技術で復元公開し、平成 16 年には金銀山のガイダンス施設となる「勝場」の公開を開始した。

平成 28 年度には、史跡佐渡金銀山遺跡佐渡奉行所跡整備基本計画書を策定し、経年劣化箇所の補修と今後の活用の方向性を計画した。

展示構成

基本的に当時の技術で復元した建物を来館者に体感してもらう形であり、御役所内を説明員が案内している。ガイダンス施設である勝場では、発掘調査で出土した遺物や、絵巻物（レプリカ）などの資料を展示し、当時の選鉱作業の設備を復元し、実際に鉱山臼を回す体験を行っている。施設の活用を図るため、地域イベントである「佐渡國相川ひなまつり・お茶会」「宵乃舞」「鉱山祭り」の会場として開放している。

順路案内

建物本体が当時の復元として建築されたため、建物内に矢印などの巡回案内を設置し、説明員がつくようにしている。

常設展示の保守点検・補修

当時の建物を復元したため、建物内での火気は厳禁であり、照明も最低限度の設置としている。機器の整備や安全管理を常に行い、特に火災に対する注意喚起を徹底しており、毎年消防用設備等総合点検を実施している。

<企画展示>

「佐渡國相川ひなまつり」

会期 平成 30 年 3 月 1 日（水）～3 月 21 日（火）

主催 佐渡國相川ひなまつり実行委員会

後援 佐渡市

会場 史跡佐渡奉行所跡 御門番所

内容 御門番所に雛人形（相川郷土博物館所蔵）を飾り、来館者に鑑賞していただいた。入館者数 545 人。

【佐渡国小木民俗博物館】

＜常設展示＞

事業趣旨

大正 9 年に建てられた木造校舎をそのまま利用して、昭和 47 年 6 月に開館した博物館。館内には主に民俗資料を展示。その数 30,000 点余り。うち「南佐渡の漁撈用具 1,293 点」「船大工道具 1,034 点」は国の重要有形民俗文化財に指定されている。千石船展示館には、安政 5 年（1858）に宿根木で建造された「幸栄丸」を当時の板図（設計図）をもとにし、実物大で復元した「白山丸」が展示されている。

展示構成

旧館には、「衣」「信仰」「陶器」をテーマにした展示室のほか、昔の生活道具を展示している大型展示室がある。新館には南佐渡の漁撈具や農具などを展示。そして、千石船展示室には、全長 23.75m の白山丸を展示しており、船内の見学もできる。また、平成 29 年度からは、佐渡博物館・相川郷土博物館に続き、小木民俗博物館版クイズブックを開始し、小学生を主な対象とし、希望者に配付している。

順路案内

旧館と展示館は通路がつながっているが新館が離れている。そのため新館を観覧せずに退館してしまう入館者も見られたので、観覧順路図を作成し受付にて配布した。また、外国から訪れた入館者も多いため、裏面には英語表記で順路を示した。

常設展示の保守点検・補修

市民の文化的・学術的活動の支援につなげるため館内と周辺的美観等を維持し、また、来館者の安全の確保を目的に常設展示室の保守点検・軽微補修、照明機器の補修・補充等を行っている。

29 年度は、4～9 月までに博物館周辺の草刈り、樹木の剪定を行った。消防用設備等総合点検は 2 回行い、照明器具については定期的に館員が点検し迅速な処理を行っている。

＜企画展示＞

「白山丸まつり」

会期 平成 29 年 7 月 29 日～7 月 30 日

主催 白山丸友の会

共催 佐渡市教育委員会

内容 文化財の公開及び普及啓発を目的とし、日本で最初に完全復元された千石船「白山丸」を年一度屋外展示、帆上げし公開することにより島内の観光施設への誘客を図る。来場者 700 人。

【海運資料館】

＜常設展示＞

事業趣旨

この資料館では、郷土共通の課題「海運」と、住民のくらしとの係わり合いを資料展示している。

展示構成

文化、芸能と人との係り、小木港が大きな役割を果たした金銀輸送のみち、船絵馬、旧小木町が日本一の生産地であった船ダンス、和船に使用された用具、西回り航路による流れ、近代の汽船時代コーナー等をわかりやすく展示。

また、考古資料は国指定史跡である長者ヶ平遺跡の出土遺物を中心に展示している。

※平成 29 年 11 月 30 日閉館

【幸丸展示館】

＜常設展示＞

事業趣旨

近世までの日本海は、表日本であった。経済発展を支えた海上交通は、小木港から対岸である越後へも往来を繰り返した。小木一寺泊間を結んだ現存する佐渡海峡最後の木造和船である「幸丸」を港湾区域内に展示することにより、かつての小木港の歴史を偲ぶと共に小木一寺泊との歴史や人と物との交流の足跡を物語るシンボルとして保存している。

展示構成

18m×24mの吹き抜けの展示館内には、船主であった長谷川正作氏の計画により、航海中にいかなる船も優先した「右舷開き」と呼ばれる帆形を再現して展示を行っている。また、展示館前庭には、案内解説看板や天然記念物および名勝「佐渡小木海岸」の岩石（枕状溶岩、柱状節理）、かつて湾内に使用されていた尾道産の御影石などを配し、無料入館できる身近な文化施設として利用されている。

※現在は、傷みのため帆を下ろしている。

【佐渡植物園】

＜常設展示＞

事業趣旨

佐渡島の植物分布の特異性、多様性の縮図として、佐渡島内に自生している植物を収集、植栽、展示して研究の資料として提供する。

青少年の生涯学習の場としての植物園を提供する。文化的、学術的資料を提供し、植物に親しむ場を提供する。

展示構成

北緯 38 度線上に位置する佐渡島は、潮流の影響によって寒暖の差が少なく自生種が極めて多い。

日本列島の縮図的な植物分布となっている。13 のゾーンに区分けした園内には、自生種の代表的な植物を植栽展示しており自然散策道や遊歩道を歩くと四季を通じて趣が感じられる。

昭和 47 年佐渡植物園 20 周年記念として、明治神宮から分けて頂いた花菖蒲は 6 月下旬～7 月上旬が見頃である。

園内の整備点検

市民の文化的・学術的活動を支援につなげるため園内と周辺的美観等を維持し、また、来館者の安全の確保を目的に園内の整備点検を行っている。

＜企画展示＞

「春の山野草展」

会期 平成 29 年 5 月 20 日～5 月 21 日

主催 佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場 羽茂地区公民館ホール

内容 出展者 14 人、展示 260 鉢、来場者 157 人

「ウチョウランと初夏の山野草展」

会期 平成 29 年 7 月 8 日～7 月 9 日

主催 佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場 羽茂地区公民館ホール

内容 出展者 9 人、展示 175 鉢、来場者 95 人
写真 15 点

「大文字草と秋の山野草展」

会期 平成 29 年 10 月 28 日～10 月 29 日

主催 佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場 羽茂地区公民館ホール

内容 出展者 13 人、展示 224 鉢、来場者 119 人
写真 15 点

「雪割草展」

会期 平成 29 年 3 月 24 日～3 月 25 日

主催 佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場 羽茂地区公民館ホール

内容 出展者 12 人、展示 300 鉢、来場者 134 人
写真 15 点

【新穂歴史民俗資料館】

<常設展示>

事業趣旨

当初は、大野川ダム建設事務所であった建物を利用して、昭和 55 年に開館した。トキをはじめとして、旧新穂村に関する資料を中心に考古・農具などが収集されていた。これらの資料をさらに有効利用するため、昭和 62 年に現在の資料館が建設された。1 階において芸術・伝統芸能、2 階において考古と民俗資料の展示を行っている。また、1 階では裂き織りや勾玉作りの体験を随時受け付けている。

展示構成

1 階では、新穂出身の日本画の大家土田麦僊の作品や鬼太鼓、国指定文化財の文弥人形、県指定文化財の説経人形・のろま人形に関する資料が展示されている。2 階においては、国指定重要文化財の新穂玉作遺跡や蔵王遺跡の資料、また各種農具や生活用具といった民俗資料が展示されている。

常設展示の保守点検・補修

平成 21 年度までは佐渡市が受付・保守管理をしていた。平成 22～25 年度は新穂さきおりサークルに、平成 26 年度は佐渡シルバー人材センターに受付業務を委託した。平成 27 年度からは地元有志の団体「新穂の歴史と民俗を考える会（通称：新穂資料館友の会）」（主な構成員：新穂ふる里講座・新穂銀山友の会・新穂山車保存会・新穂さきおりサークル）に受付・企画展開催を含めた管理運営業務を委託した。施設保守・点検については、保守点検業者に委託し、市職員が新穂資料館友の会の協力を得て実施した。

<企画展示>

「写真展 佐渡の野鳥を愉しむ」

会期 平成 29 年 4 月 25 日（火）～5 月 21 日（日）

主催 新穂の歴史と民俗を考える会

共催 日本野鳥の会佐渡支部

内容 日本野鳥の会佐渡支部の会員がとらえた佐渡で見られる野の鳥たちの写真展。関連して、「新穂ダム探鳥会と鳥のおはなし」等のイベントも開催した。入館者数 221 人。

「裂き織り」作品展

会期 平成 29 年 10 月 8 日（日）～10 月 28 日（土）

主催 新穂さっこりサークル

共催 新穂の歴史と民俗を考える会

内容 10 月 8 日の「トキ夕映え市」に合わせて開催。主に島内在住の裂き織り愛好者が作品を出品した。作品数 1 点、入館者数 532 人。

祝勇吉『佐渡の石仏』出版記念企画佐渡の石仏展

会期 平成 29 年 11 月 1 日（水）～11 月 26 日（日）

主催 新穂の歴史と民俗を考える会

共催 佐渡の石仏展実行委員会

内容 佐渡島内の石仏等の調査に取り組まれた祝勇吉氏の調査記録『佐渡の石仏』の出版を記念し、開催された展示会。入館者数 518 人。

「新穂写彩の会・佐渡総合高校写真部合同作品展」

会期 平成 30 年 3 月 1 日（木）～4 月 8 日（日）

主催 新穂の歴史と民俗を考える会

共催 新穂写彩の会・佐渡総合高校写真部

内容 佐渡島内の石仏等の調査に取り組まれた祝勇吉氏の調査記録『佐渡の石仏』の出版を記念された展示会。入館者数 182 人。※3 月末まで

【金井歴史民俗資料収蔵庫】

<常設展示>

事業趣旨

広く佐渡国中平野における農耕文化資料の保存を目的として、昭和 50 年に竣工した。その後、郷倉が旧両津市大字上横山（現在の佐渡市上横山）から移築されている。民俗資料約 2,000 点、考古資料約 4,000 点を収蔵している。平成 23 年 3 月に佐渡市歴史民俗資料館条例から記載を削除すると同時に機関廃止した。
平成 23 年度から資料館としての開館は行っていない。

【明治記念堂（開導館）】

＜常設展示＞

事業趣旨

明治 27 年から 28 年にかけて行われた日清戦争で、佐渡出身の兵士 40 余名が戦死した。その英霊を慰めるため明治 29 年に、金井地区得勝寺の住職である本莊了寛が一念発起し、島内外から義損金を集め、敷地を購入し堂宇を建立し「明治記念堂」と名付けた。

その後、付属施設として博物資料を展示するための「開導館」を建てた。相川の鉱山学校から譲り受けた資料や、日清・日露戦争等の資料、島内外の資料を陳列した。明治 35 年に、明治記念堂と開導館の落成式が開催された。

平成 23 年 3 月に条例廃止すると同時に機関廃止した。

現在、資料館としての開館は行っておらず、今後文化財として活用する予定。

2. 収集保管事業

寄贈

4 月

- ・ シュールド・バッカー版画作品

5 月

- ・ 佐々木象堂銘 湯呑
- ・ 村田文三資料 一式

6 月

- ・ トビ剥製
- ・ 牛窪弘善資料（縄文時代中期の釣手土器）

7 月

- ・ 葵紋付きの木箱ほか 一括
- ・ 相川弥十郎町 長井家資料
- ・ トビ剥製、キジ剥製

8 月

- ・ 木村紀子氏（雅号 牧翠）資料

9 月

- ・ 土田麦僊関係書簡の封筒
- ・ 廻船で使用したロープ

10 月

- ・ 日露戦争戦没者慰霊掛軸
- ・ ふすま絵

11 月

- ・ 佐渡観光パンフレット

12 月

- ・ 相川祭り提灯

1 月

- ・ 望遠鏡
- ・ 望遠鏡
- ・ 旧マルゴ味噌第二工場で使用された蒸気機関 一式

式

2 月

- ・ 宝生流謡本ほか
- ・ 下久知 本間弥吉家文書

3 月

- ・ 宿根木 佐藤伊左衛門家資料
- ・ 故 広瀬シヨ義母胸像

寄託

6 月

- ・ 佐渡奉行赴任絵図、相川八景、木箱の蓋

3. 調査研究事業

佐渡博物館収蔵品等の発掘調査に関する調査・研究が世界遺産推進課により行われた。次頁よりその報告を紹介する。

1 はじめに

佐渡国分寺跡は、過去に数度の発掘調査が行われ、多数の遺物が出土している。しかし頁の制約等の事情により、良好な出土遺物があるにもかかわらず、発掘調査報告書や『北陸の古代寺院』の佐渡編〔山本 1987〕等に掲載されなかったものも多い。今回それらの遺物のうち、佐渡博物館収藏品等の発掘調査を中心に、遺存度の高いもの、特筆されるものの観点から 3 点抽出し、遺跡の概要及び資料紹介のかたちで報告することとしたい。

2 遺跡の立地

佐渡国分寺跡は国中平野の南西部に位置し、国府川の支流である竹田川北東部を、竹田川の支流である大道川によって南西部を区画された小佐渡丘陵北西端の海岸段丘上に立地する。標高は約 52～53m を測る。

3 佐渡国分寺の変遷と過去の調査

国分寺は天平 13（741）年、聖武天皇の勅願によって、五穀豊穰・国家鎮護のため、国分尼寺と共に国ごとに建立された（『続日本紀』天平 13 年 3 月 24 日条）が、実際には諸国の政治・経済上の都合により、その完成はまちまちであり、佐渡国分寺の創建時期も不明である。『続日本紀』神護景雲 2（768）年、越後国から支出していた佐渡造国分寺料を停止し、代わりに佐渡国地自身の田租を充填する記事があることから、8 世紀半ばを過ぎてもいまだ造営途中であったことが分かる。現段階では、全国的に国分寺造営の記事が見えなくなる宝亀元（770）年頃に完成したとするのが妥当であろう〔今井・源 1938〕。江戸時代後期の『佐渡志』を見ると、正安年中（1299～1302）の落雷に

より寺堂が焼かれ、再建された寺堂も享禄 2（1529）年の火災で悉く焼けてしまったことが伝えられている〔田中 1958〕。遺跡の東側に隣接する現国分寺が建てられた時期は不明であるが、本尊である国重文薬師如来坐像は度重なる火災にも消失を逃れ、現在の姿をとどめている。

佐渡国分寺跡の存在が周知されたのは比較的古く、文化年間（1804～1817）には塔の礎石や布目瓦の出土が判明している〔田中 1958〕。大正 15（1926）年、塔跡の礎石の一部の発見を契機に〔原田 1927〕、昭和 2（1927）年に内務省による現地踏査が実施され、金堂・回廊・講堂（新堂）の礎石が確認されている〔本間 1927〕。昭和 3（1928）年には南大門・塔の礎石が発見され、〔諸田 1929〕、各遺構の遺存状態が良好であることから、翌昭和 4 年に国史跡に指定されている。昭和 46～48（1971～1973）の 3 ヶ年にわたって史跡全体の公園整備がなされ、より伽藍の配置等が明確化されている。

史跡隣接地も含め、本格的な発掘調査は平成 6～8 年に史跡南側に走る県道の拡幅に伴う調査（A 区）及び塔東側（B 区）を嚆矢とし、平成 11～15 年度の史跡南側の県道拡幅に伴う調査及び 12～13 年度の史跡北側の町道、平成 13 年度の南大門付近の調査、平成 15～17 年度の史跡範囲内容確認調査（15 年度は塔南・塔東、16 年度は金堂北・塔東、17 年度は金堂北・塔東）が行われ、5 冊の発掘調査報告書が刊行されている〔若林 2004・2005、堅木 2005a・2005 b、川村 2008〕。

4 遺物

1 は軒平瓦。出土地点不明のもので、史跡整備時の表採品である。瓦当の上弦幅 25.0 cm・厚さ 5.9 cm・内区厚 3.7 cm・周縁高 0.6 cm、現存全長

21.4 cmを測る。焼成は還元硬質で、胎土は径1～2 mm台の小石を多量に含む。凸面調整は縄目により円弧方向に施され、凹面及び瓦当面は布目調整が施され、両側面はケズリによって面を持つ。簡略化された偏行唐草文である209型式をさらに簡略化し、内区文様が菱型になった210型式に該当し、国分寺創建期のⅠ期（瓦葺伽藍が整備された時期）のものと推定される〔川村 2008〕。ちなみに210型式は、佐渡国分寺跡に隣接する経ヶ峰窯跡出土品から、同窯で生産されたものと推定される。

2は丸瓦。過去に『北陸の古代寺院』の佐渡編〔山本 1987〕等にて掲載されているが、写真のみであったため、今回図化した。1と同様、史跡整備時の表採品で、旧金堂回廊付近より出土した。現存長15.8 cm・現存幅12.7 cm・厚さ2.3 cmを測る。焼成は還元硬質で、胎土は径1～2 mm台の小石を少量含む。凸面調整は縦方向のナデ、凹面は布目調整が施され、残存する右側面及び凸面の右端幅0.7 cmはケズリによって面を持つ。佐渡市指定文化財で、いわゆる「人物戯画瓦」と呼称されるものである。沈線により文字及び人物戯画が描出されている。文字は「三国真人」の部分が残存する。過去に多くの書物によって取り上げられているため、詳細にはふれないが、『続日本記』延暦4（785）年11月8日の記事にある、謀反を誣告する罪に坐し、斬られるところ、死一等減して佐渡国へ配流された能登守従五位下の「三国真人広見」を描いたものと推定される。考古資料と文献資料の記載が見ごとに符合する貴重な出土品である。

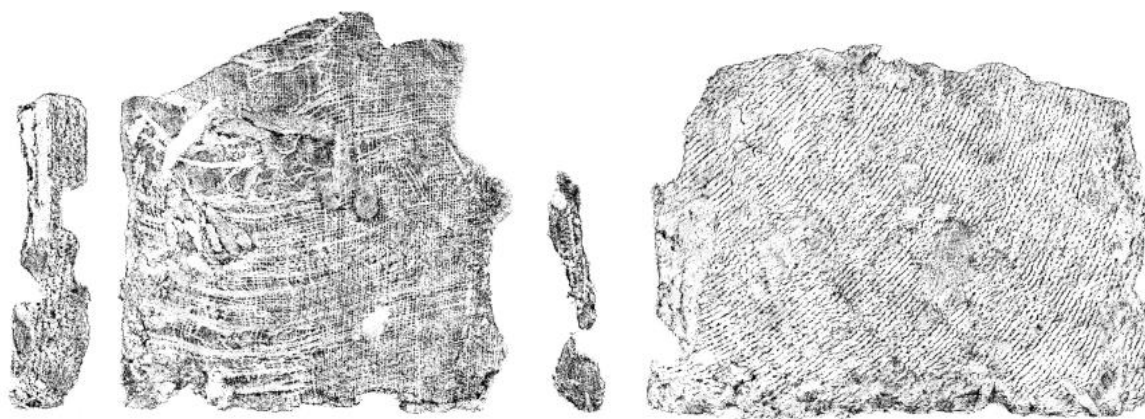
3は須恵器の鉄鉢。平成8年度調査のB区KgVグリッドより出土した。口縁部や体部の一部を欠くが、ほぼ完形で、口径21.8 cm、器高13.9 cmを測る。焼成は還元硬質で、胎土は白色粒子を多量に含む。金属器の仏具の模倣品で、口縁部は内湾して立ち上がり、短く屈曲し、口縁端部を丸くおさめる。底部は丸底となる。内外面ともロクロナデにより調整される。

5 おわりに

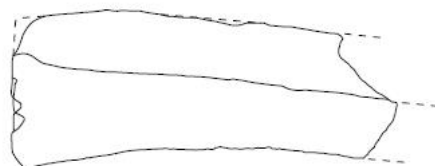
以上、佐渡国分寺跡出土の特筆すべき遺物について、3点抽出して記載した。これらの資料を今回図化することにより、多方面で活用されれば幸いである。なお、佐渡国分寺跡出土品にはまだ図化されていない優品が多々見られる。今後もこういった資料を地道に報告し、遺物から佐渡国分寺跡について検討していきたい。

<参考文献>

- 今井滋二・源豊宗 1938 「佐渡国分寺」『国分寺の研究』下 考古学研究会
- 堅木宜弘 2005a 『国分寺遺跡群―市道中沢田20号改良工事に伴う発掘調査報告書―』 佐渡市教育委員会
- 堅木宜弘 2005b 『国分寺遺跡群―一般県道阿仏坊・新町線改良工事に伴う発掘調査報告書―』 佐渡市教育委員会
- 川村 尚 2008 『佐渡国分寺跡発掘調査報告Ⅲ』 佐渡市教育委員会
- 田中葵園 1958 「佐渡志」山本修之助編『佐渡叢書』第二巻 佐渡叢書刊行会
- 原田廣作 1927 「國分寺の遺蹟と遺物」『佐渡史苑』第一輯 佐渡史苑社
- 本間洒川 1927 「國分寺遺跡發見報告」『佐渡史苑』第三号 佐渡史苑社
- 本間嘉晴 1993 「絵・文字瓦」財団法人佐渡博物館編『図説 佐渡島』 新潟交通
- 諸田八百七 1929 「佐渡國分寺趾」『佐渡史苑』第四號 佐渡史苑社
- 山本 仁 1996 『経ヶ峰窯跡』 真野町教育委員会
- 山本 肇 1987 「佐渡国分寺跡」『北陸の古代寺院―その源流と古瓦―』 桂書房
- 若林篤男 2004 『佐渡国分寺跡Ⅰ』 佐渡市教育委員会
- 若林篤男 2005 『佐渡国分寺跡Ⅱ』 佐渡市教育委員会



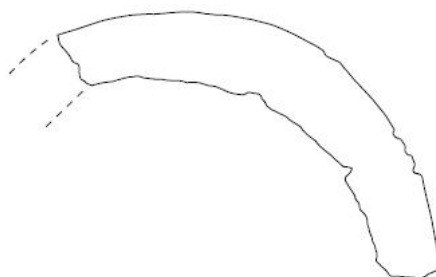
1



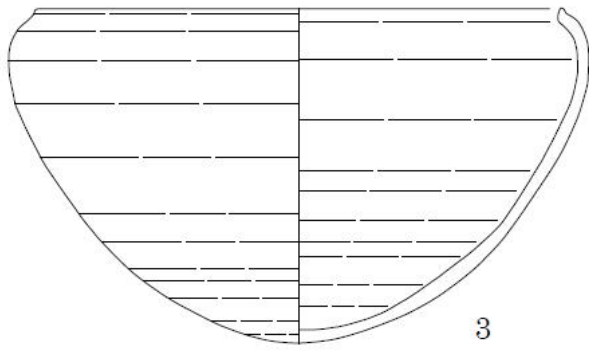
0 (1:4) 20cm



2



0 (1:2) 10cm



3



3

0 (1:3) 15cm



1



0 (1:4) 20cm



2

0 (1:2) 10cm

4. 普及教育事業

【小学校との連携事業】

・平成 29 年度 「小学生による佐渡金銀山関係の郷土学習」

佐渡市立全小学校を対象に、佐渡の金銀山に関連した郷土の歴史や文化などを学習する機会とし、郷土を愛し誇れる子どもたちの育成を目的とする。

参加校 二宮小学校、相川小学校、小木小学校、真野学校、新穂小学校、羽茂小学校

<現地学習の事例>

① 二宮小学校

実施日 5月23日(火)

児童数 34人

内容 現地学習として、相川金山で坑道内の金の採掘方法等について学習した。

行程 二宮小学校→史跡佐渡金山→二宮小学校

② 相川小学校

実施日 6月21日(水)、6月28日(水)、
7月5日(水)

児童数 21人

内容 現地学習として、相川金銀山では道遊の割戸、及び周辺施設等について、京町通りの周辺では町名の由来、佐渡奉行所では金山との関連等、それぞれの場所で学習した。

行程 相川小学校→史跡佐渡金山→相川小学校
※6月21日

③ 小木小学校

実施日 8月30日(水)

児童数 12人

内容 出前授業として、佐渡金銀山の歴史について学習した。

④ 真野小学校

実施日 9月13日(水)

児童数 39人

内容 出前授業として、佐渡金銀山の歴史について、また、世界遺産登録に向けた取り組みについて学習した。

⑤ 新穂小学校

実施日 10月31日(火)、11月7日(火)、
11月15日(水)

児童数 15人

内容 現地学習として、新穂銀山周辺について学習し、出前授業として、佐渡金銀山の価値と世界遺産登録に向けた取り組みについて学習した。

行程 新穂小学校→新穂銀山周辺→新穂小学校
※10月31日

⑥ 羽茂小学校

実施日 11月2日(木)、11月9日(木)

児童数 13人

内容 出前授業として、佐渡金銀山の歴史について、現地学習では相川金山の歴史について学習した。

行程 新穂小学校→新穂銀山周辺→新穂小学校
※11月9日

【職場体験】

・相川中学校 2 年生

実施日 8 月 1 日（火）～8 月 2 日（水）

生徒数 3 人

内容 相川郷土博物館、相川技能伝承展示館の見学、調査、来館者へのインタビュー、アンケート
インタビュー及びアンケート結果を踏まえて、博物館・資料館活性化作をまとめ、提言する。

・金井中学校 2 年生

実施日 9 月 14 日（木）～9 月 15 日（金）

生徒数 4 人

内容 相川郷土博物館、相川技能伝承展示館クイズ集の企画・編集

「小学生による

佐渡金銀山関係の郷土学習」

平成29年度

参加校学習成果

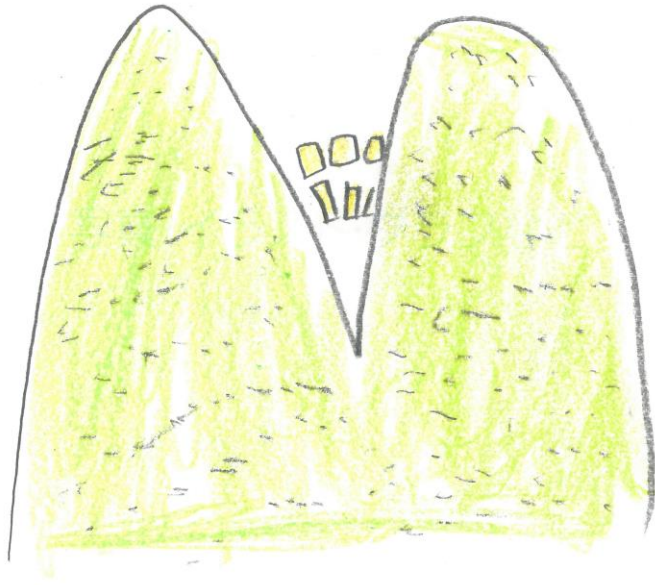
参加校

- ☆ 二宮小学校 P38～P42
- ☆ 相川小学校 P43～P47
- ☆ 小木小学校 P48,P49
- ☆ 真野小学校 P50～P53
- ☆ 新穂小学校 P54～P64
- ☆ 羽茂小学校 P65～P68

金山のヒミツすごレ!!

金山新聞

二宮小学校
えんちうづりたん



ぼくは、金山のいろいろなことを調べるために金山に行ったので金山のことをしようかいしたいと思っています。

金山のヒミツ

みなさんは金山のいろいろなことを知っていますか。明治時代いのはきは金をさくがんき、だいなまいとなびてとっていました。一日金は98トンもとれていました。5月23日の金1グラムのねたんは4円25円です。だうたら2グラムだつたら、ほとんじり万円です。そして、小ばんのしゆるいは25しりるいもあります。

えど時代いのはきは金山はさどハグフという人の物だつた。えど時代いのはきのほり方はたがねとハンマーをつがつていました。明かりはえど時代いのはきはあぶらをもやしてしました。明治時代いのはきはキャップランプをつがつていました。ぼくは、そんなに金山のヒミツはあるんだなと思います。そして、もっとと金山のヒミツを調べたいです。

すごいぞ! 金山の道具

金山新聞

二宮小宮校
源氏杏花利



たがねとつちを
つかってほっている
ところ。

わたしは、金山の道具やほり方
をもっと知りたいので、金山へ、
行きました。
金山で、江戸時代と明治時代の
ことをしようがいます。

江戸時代と
明治時代

みなさんは、道具
と金のほり方をし
ていますか。江戸時
代の道具はたがねと
つちです。つちとい
うのは、ハンマーで
す。ほり方は人間の
力でほりました。明
治時代の道具はダ
ナマイトとさくかん
きです。ほり方は、
きかいでほっていま
した。石のはこび方
も、江戸時代を明治
時代ではことなりま
す。江戸時代は、な
ますではこんでいま

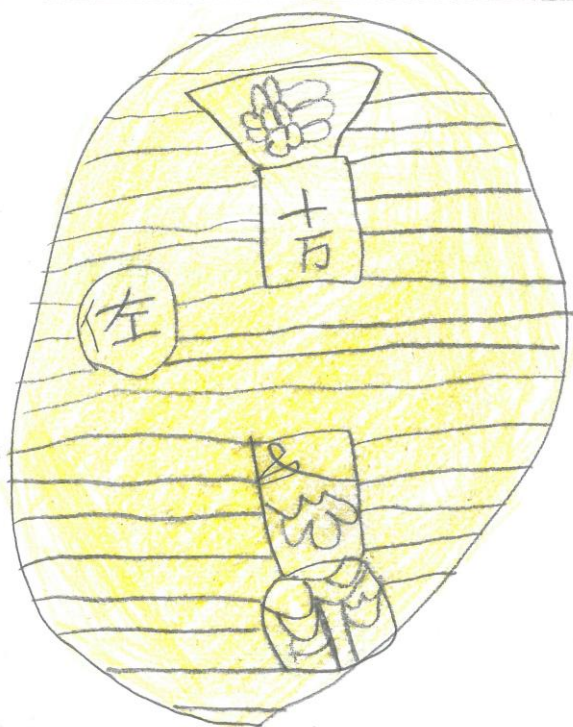
した。なますとい
うのは、茶色のリユツ
クのようなものです。
そのなますをせお
てはこんでいました。
明治時代は、トロ
ッコをつか。こはこん
でいました。トロ
ッコは、車のようにな
ります。
たくさん金のと
るために、道具やほ
り方は、はこび方を変
えて工夫している
ところ。すごいい
ました。こうりつ
よく金をとるため
のひみつがわか
つたです。

金山新聞

二宮小学校

藤馬 彦

すごい品と小ばんの作り方



ぼくは、さば小ばんがどうやって作るのかが調べたいと思って金山に行きました。
これから、さば小ばんの作り方について、しょうかいします。

小ばんの作り方

まず、金をとがします。

つぎに、とかした金を長くのばします。そのつぎに、火を使つて、かなづちでたたきます。

つぎに、水あらぬをすると、のじ金がむきます。この、のし金から百二十このこばんができます。そして、小ばんの重さ、見た目を合わせます。

さい後に、佐渡のしるしをあわせ

ると、佐渡小ばんはかんせいです。

ぼくは、小ばんの作り方がわからなかった時に、佐渡金山のとうゆうこうとそうだゆうこうのニコースをたんけんしたら、小ばんの作り方がわからなかったのにわかるようになったので、うれしかったです。

さんとは小金を金仕う石の中からどうやって、とるのか、調べてみたいと思います。色々なぎじゅつがあるんだろうな、と思います。

問題 佐渡でできた金はいくらになるのでしょうか。

金山ひみつ新聞

二宮小学校
嶋倉一花

すごい！えど時代のどく

わたしは、金山のれきしについて知ることがしたので金山に行きました。えど時代とめいじ時代は、ちがうことが分かったので、しようかいたします。



金山クイズ

● 小はんに書かれていますから字はなんでしょう。

えど時代とめいじ時代のちが

えど時代のときは、たがねとつちでほって、手でほっていました。

めいじ時代になると、さくがんきというきがいを使って金をほっていました。

こう道では、たこの石のはこび万もえど時代とめいじ時代

でちがいます。えど時代は、なますで人の力ではこび

ました。めいじ時代は、ト

た。

明かりのつけ方もちがいます。

えど時代は、あぶりをもちして、明かりをつけていました。

めいじ時代は、タンプランプをつけていました。

えど時代とめいじ時代は、ほり方や明かりやはこび方もちがいます。

わたしは、金山に行って、えど時代とめいじ時代は、まったくちがうことが分かりました。もっと調べてみたいです。

すごい! 金1グラムのかち!



わたしは、金山へ金1グラムのねだんを調べに行きました。ここからは、金山でとれた金1グラムについてしようかしたいと思います。



金山に売っている金は、毎日ねだんがちがっているそうです。その理由は、金のかちがそれぞれちがうからなんだそうです。わたしが行ったときには、四千九百二十三円というねだんでしたが、今の五年生が三年生のころに行ったときの金1グラムのねだんは、五千四百十八円だったのだそうです。

毎日、金のねだんがちがう!?

本当に金のかちがちがっていました。わたしが行ったときよりも、今の五年生が二年前の三年生のころに行ったときの方が、ねだんが高かったです。わたしは、金1グラムのそれぞれのねだんがちがうことをはじめて知りました。そして、黄金で光がはんにやしてきれいに光っている方がちがいが高いのかと考えました。まだ質問があるので、金山に行って調べてみたいと思います。

ぼくらが伝える黄金伝説！

佐渡市立相川小学校

1. 指導計画

活動時期	活動内容	詳細
4月	全校総合 (オリエンテーション)	【講師】世界遺産推進課 山口様 佐渡金山について、プレゼンテーションを用いてお話ししていただく。
5月	①京町通りのガイドを受ける。 ②奉行所のガイドを受ける。 ③金山ガイドを受ける。	①【ガイド】世界遺産推進課 山口様 町名や建物についての説明をしていただく。 ②【ガイド】世界遺産推進課 濱野様 奉行所の歴史や役割について説明をしていただく。 ③【ガイド】世界遺産推進課 濱野様 金山の2つのコースを周り、ガイドを受ける。
6月	京町通り・奉行所に関する新聞作り	ガイドを受けて、自分たちが初めて知ったことや興味をもったことを、新聞にまとめる。
7月	金山ガイドの原稿作り	5つの班（5つの場所）に分かれて、金山ガイドをするための原稿を作成する。
10月	①1回目の金山ガイドを行う。 ②2回目の金山ガイドを行う。	【指導者】ゴールデン佐渡 石川様 世界遺産推進課 濱野様 児童のガイドの様子を見ていただき、適宜アドバイスを受けながら、ガイドを行う。
11月	まとめ	

2. 活動の様子



鉾山町の歴史を伝える
建物のたたずまい

京町通り

京町通り

京町通りは、鉾山労働者の町です。

歩いてみよう

京町通りを歩いて見ると、写真の
ような家があります。並の写真は、
伝統的な鉾山社宅です。本の写真は、伝

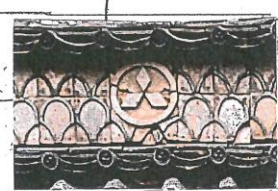


鉾山社宅



町家

まめちしき



こんなマークが
刻まれた瓦
もあります！

瓦にマ
菱の
昔の
こ
これ
金
山
で
金
を
ほ
る
仕
事
を
三
菱
の
マ
ー
ク
で
す。
三
菱
の
人
た
ち
が
あ
る
そ
う
で
す。

京町通りを歩いてみると、
上の写真のような建物を
いっぱい見ることかできま
す。いろいろな建物があ
る。おもしろいので、ぜひ
歩いてみてください。

歩いてみて

時を意味する鐘の音
寺童米女
日金木

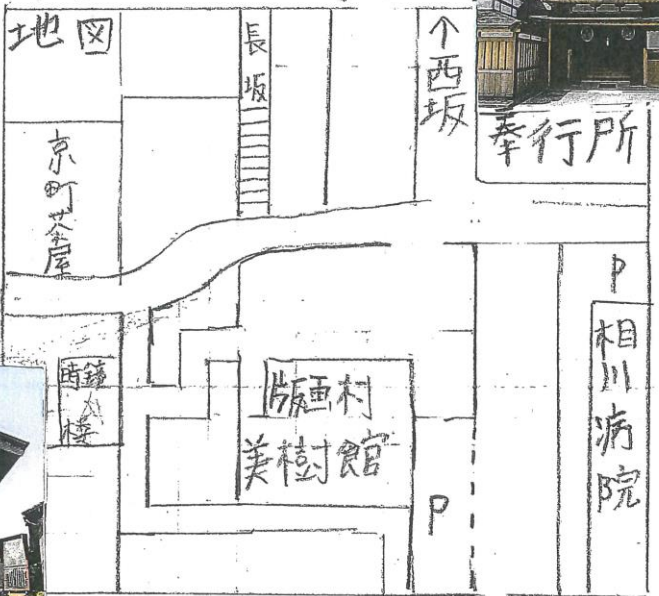


奉行所

相川病院

この鐘は、18世紀初頭から明治初年まで、相川の町に時を知らせてきました。

この鐘は、正徳3年（1711）に、銅で造られ、現在もその姿を留めています。



夕方5時、7時に鐘をつく
ニャン。

京町通り

京町通りには町の名前がたくさんあります。

一丁目

米屋町↓米屋が多かった。

二丁目

みそ屋町↓みそ屋が多かった。

三丁目

しん五ろう町↓しん五ろうさんがすんでいた。

このほかにも八百屋町、中京町、下京町、上京町、大工町、せひ探してみてはどうでしょう。

佐渡をおさめる

佐渡奉行所

奉行所の役わり

奉行所の役わりは、大きく三つあります。

一、豊い人を裁く。裁判所
二、金銀やせの管理。

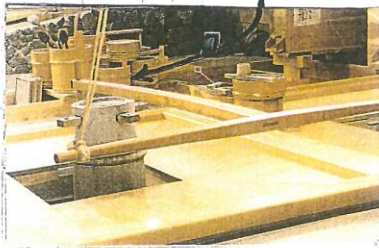
三、金の製錬

金の製錬とは

奉行所の敷地の中に勝場と
行方、佐渡金銀山で採掘
された鉱石をコナゴナにして金
とかが、選りす、所がある。



鉛板といふのがあ
その中に金や銀
が入っている
それを石うす
コナゴナにして
完成だよ！



裁判する所にある

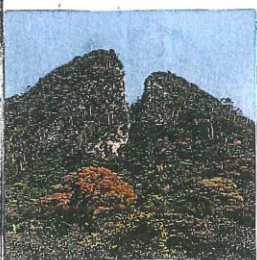
おしがす



おしがすについて
おしがすとは昔
裁判をしていた場
所で、上の写真の
まうに白り石がた
くさんしき、座
かいて、座ると
痛い。

感想

奉行所は、金山からとれた金を
鉛板として作って、石うす
コナゴナにする、うす
奉行所と金山に開あり
かあることが分かった



今もなり続けて
時鐘楼

時鐘楼とは

この建物は、じしゅうらうらう
と言います。

時鐘楼は、平成七十六年六月
十三日に、つき始めました。

今も、午前七時と午後六
時、毎日二回つかれていま
す。

す。

18世紀初頭から明治初年

まで、相川の町に時刻を知ら

せてきました。正徳三年約

30年前に、佐渡産の銅で、

され、現在、鐘の正徳三年約

は、万延元年の鐘の正徳三年約

改築されたもの、の正徳三年約

で、築されたもの、の正徳三年約



※10～3月の時は、午後五時に鐘が、
なります。



佐渡奉行所

この建物は、佐渡奉行所と言いま

す。一番目の奉行所は、慶長8年に

相川、金銀山のふもとに建てられまし

た。その後、火事によって、再建され

た。その後、返されました。その都度、安

え、明治維新以後は、役所や学校とし

て使われてきました。昭和4年、国史蹟

に指定されました。昭和17年の火

事に、指定されました。昭和17年の火

事によ、て江戸時代、の建物、は、牛

ま、した。平成6年、再び、国史蹟に指

定、されたのを、受け、保存整備事業が

始、められ、平成13年に、佐渡奉行所が、復

原、さ、れ、まし、た。



撮影：小川忠博
佐渡奉行所跡出土品（国重要文化財）
発掘調査によって出土した遺物のうち、奉行所を特
に付ける928点が国重要文化財に指定されています。

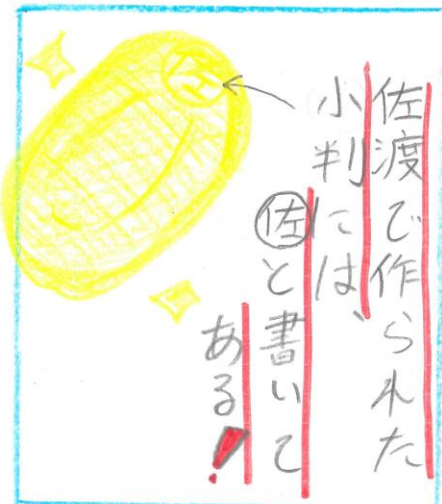
金山新聞

発行日 11月13日
 作・本間日和



金山について

まず、金山は、一六〇一年に山師三人によって開山された。そして、金山で銀をとっていいところ、金を発見した。と呼はれるようになった。金の島。そうして、佐渡は一八九六年に日本最大の金銀山として、大きな発展をつげた。



12月の行事

こんなものもあるよ!



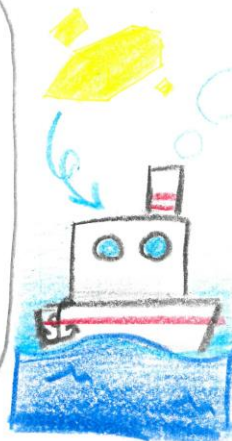
へえ、面白い! 金とっていった会社のマーク



行くってめて、良い点: 実際の金の延棒を取るの面白い。楽しい! GOOD! おすすめな点: 幼稚園か遊べる場所を作ると家族皆で来たくなると思います!



道遊の割りと高さ74m!



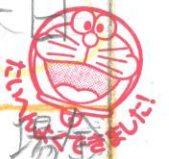
中の金はたったの1g! ※の鉱石だと

鉱石



金山新聞

発行日十一月十七日
作成者 本間 蒼夫



金山は楽しまねう字べる場所ですぜひ行ってみて下さい。

佐渡金山とは

佐渡の有名な金山のこと。
江戸時代から昭和時代までさくつしていましたが坑道のぼたきりはなんと四百キロで金は七六トも産出されまじた。
また佐渡にはつるし銀山や、西三川砂金山もあります。

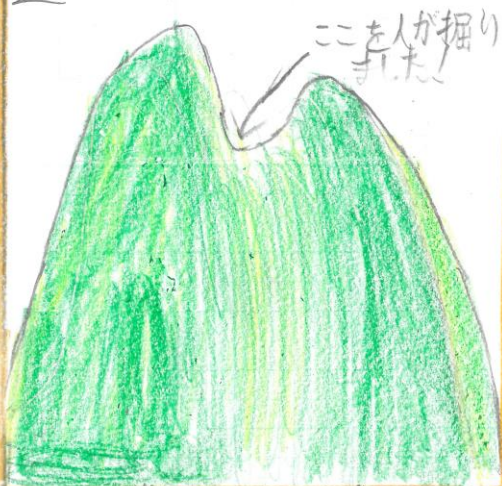
びっくり！金発見のきかけ

金を発見したきかけは、西三川砂金山の近くの畑で農作業をしていたおはあちゃんか野菜をぬいたときに金を見つけたそうす。
農作業で金と見けるなんてびっくりですね。
西三川砂金山は平安時代で金をとっていた可能性もあります。

道遊の割戸について

道遊の割戸は佐渡金山のシンボル人の手で掘り進めた結果深さ七十四メートル幅二十メートルにもなり山を二つに割ったような姿になりました。なんと佐渡ではもっとも大きな露頭掘りのあとです。

道遊の割戸のイメージ図



金山で働く人や近くの町人の月の行事について

- 左のように月に一回は行事が行なわれていました。金山で働く人だけななく近くの町人も参加していました。
- 1 正月 七夕盆おどり
 - 2 春駒 8 矢ふさめ
 - 3 浜遊山 9 善知鳥祭礼
 - 4 春日の能 10 大根売
 - 5 しゅうふや 11 御蔵附
 - 6 花火見物 12 もちつき

行ってみての感想、意見

僕は金山は世界遺産になってもおかしくないくらいです。理由は、道遊の割戸もそのまま残っているからです。新しいコースをつくる体験コーナーや子どもが遊べる場所をのこすといひと思ひました。

世界遺産に！

佐渡金銀山新聞

・佐渡金銀山とは？・

印象的な大きな山が目印な佐渡金銀山。金銀山には多くの歴史があります。

佐渡金銀山の金鉱はとても大きく、東西に三キロメートル、南北に六百メートル、深さ八百メートルと、とても大きいです。現在では、世界中の人々に金銀山について知ってもらうためにパンフレットなどでもたくさんしゅうがいされています。四やマンガで分かりやすく金銀山についてかがれています。世界遺産に登録されるために島民が一丸となり、登録を目指しています。歴史ある金銀山を世界中に広めていきます。

・佐渡の金山について知ろう・

実は佐渡にはたくさん金銀がとれていた場所があります。

二つ目は「西三川砂金山」です。

佐渡の金の歴史はこの山から始まりました。西三川には虎丸山といつ昔金をとっていた場所があります。今でも金かとれていた部分には木が生えずに残っています。さらに、西三川では金をとるときに使われた水路を今では田んぼとして使っています。

西三川には実際に金をとれる「ゴールドパーク」があります。

佐渡は、相川に伝わるたぬきの物語が、二つ目の金山にまつられています。



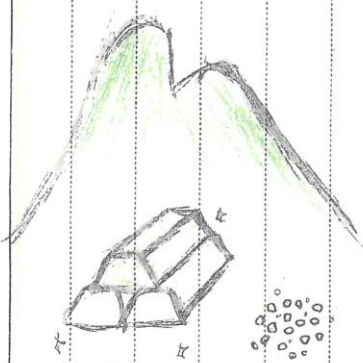
みんなで行きましょう

二つ目は「鶴子銀山」。

これは主に銀がとれていました。だから、たくさんの人々が銀を求めて各地からやってきました。そして鶴子銀山での鉱山技術が相川金銀山を発見するきっかけになったそうです。

三つ目は、佐渡の中でもっとも有名な金銀山「相川金銀山」です。相川では金銀を得るために当時の最先端技術を取り入れて、たくさんのお金をとっていました。

金山！



●佐渡が目指す世界遺産

佐渡の金銀山は、この三つの他にもあります。そして、世界遺産に一番有力なのが「相川金銀山」なのです。佐渡では二十一年までに登録されるようにがんばっています。ですが世界遺産に登録されるまでには時間がかかっています。

- ① 国内推せん
- ② 推せん書提出
- ③ 現地調査
- ④ 年次報告
- ⑤ 発表

このようになかなかすぐには登録されないのです。さらに登録されても、現地のじょうたいが悪いと登録が消されてしまう可能性があるので、気を付けなければいけません。

佐渡にしかないところ、ところもあるのを登録されるように

みんなが金銀山の良さを伝えていきましよう。

金山をPRするためにキャラクターが生まれました



●金山を世界遺産にするために私達ができること。

私は、島のみんなが佐渡の金銀山を世界遺産にするという心がけが大切だと思います。その心がけが島の人でもかけてしまつと、金銀山は、世界遺産に遠ざかってしまいます。学校で世界遺産推進課の方からお話を聞いて、これまでより

佐渡は世界遺産になるようにがんばっているんだなと改めて感じました。私は五日に世界遺産への発表を見ました。しかし、今年も登録にならず、非さんでいる人を見ました。

来年こそは世界遺産になるように島のみんなががんばっています。世界遺産になるまで金銀山をPRしていきたいです。PRするだけでなく、金山についてたくさん知りたいです。

みんなががんばろう!



2017年12月15日

まるごと! 金山新聞

伊藤 有海

まるごと!

金山新聞

佐渡金銀山について。

佐渡は金銀山が40個以上あり、有名なのは「西三川砂金山」「鶴子銀山」「相川金銀山」です。この三つの鉱山は昔から幕府を支えてきました。

三つの鉱山の歴史

平安時代頃

西三川砂金山開山

佐渡の金の歴史はこの鉱山から始

戦国時代頃

鶴子銀山開山

銀山に600万かよ以上のさいくつの跡

相川金銀山を見つけるきかけに。

江戸時代頃

相川金銀山開山

400年以上続いた。そして軽トラ一台

ぶんの金をとれた。

鶴子銀山開山

相川金銀山と鶴子銀山はバトニタウのようになっている。



近代(明治〜平成)

西三川砂金山開山(明治)

相川金銀山開山(平成)

佐渡の金銀山は平安〜平成までずっとほられ続けられていた。

世界遺産になるにはどうすればよい。

世界遺産の種類

文化遺産: 建物や遺せきなど遺産

富岡製糸場・姫路城 など

自然遺産: 自然(植物など)の遺産

複合遺産: 文化&自然が両方ある

複合遺産は難しい。佐渡は複合遺産

ではなく文化遺産を目指していて、相川

金銀山の登録に向けてイベントなどに

参加したりして頑張っています。

金・銀はどうやって

掘っていた?

西三川砂金山の頃

金をくむ山の土を掘りくす

鶴子銀山の頃



1. 山の表面に出ている金や銀をくむ鉱脈を土砂ごと取る。西三川の頃と似ている(頭掘り)

2. 地表に出ている鉱脈を追いかけてながら

不規則に掘り進んでいく(み追掘り)

3. この頃は雨水がたまり鉱脈が悪かった。そこで掘るのによい方法を

横相 あらかじめどこに鉱脈があるか調べ

て山の横からトンネルを掘って中の鉱脈を

目指す方法。この方法は豊臣秀吉が伝えたといわれているよ。

相川金銀山の頃

道徳の割戸はる頭掘りの掘った後ら

しい。江戸時代頃は今までの掘り方では

ついていた。明治時代になると

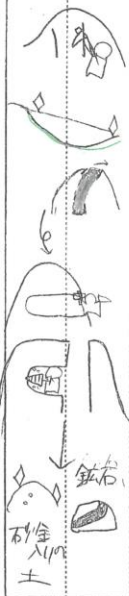
世界の最新技術が次々取り入れられ、日本

を代表する鉱山になった。これまで取れな

たぶんも取れるようになり、大規模に

なっていた。

機械、ダイナマイトなどを使って掘る



まめちしき
金山と水は関係が深い！

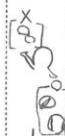
西三川砂金山の頃は水を流して土砂をとり除く時に使い、相川金銀山の地下水を取るために水車輪が使われるなど意外と金山と水は関係があります。水車輪は水のとこがない所へ水をおくるしくみや西三川砂金山の水路は農業にも使われていました。佐渡が農業がさかんなのは金山の技術があったからこそかもしれないですね。

金・銀が
できるまで

西三川砂金山の場合

砂金をふるむ土をやり板でゆらし砂金を取る


鶴子銀山の場合

鉱石から金銀をふるむ部分とそうでない部分に分ける

↓細かく砕き銀を取り出す
↓鉛を使って銀の中の不純物を取り除く


相川金銀山の場合

鶴子銀山といっしょで合金ができる

そこから塩を使って金を分離させる

塩金
砂金
金

まめちしき
金山には歴史人物が多く関わっている

豊臣秀吉も金山が盛えていたころ、深い関わりがあった。上杉景勝(上杉謙信の養子)が鶴子銀山の屋しぎに居た事も分かっています。しかも昔、ヨーロッパに「SADO」という名前が伝わっていたそうです。佐渡はとてもすごいところだったということかもしれませんね。

おまけクイズ

Q 1765 8000 円
これはどういう意味でしょう。

1 金 佐渡の銀
2 佐渡が水車輪の時代
3 水車輪の人数 佐渡金山に働いた人数

A 2 8000 円 1765 は佐渡でつづられた。
佐渡の金山の歴史は奥が深い事が分かりました。佐渡の金は幕府を支えていたほどすごいので、世界遺産になるべきだと改めて強く思いました。

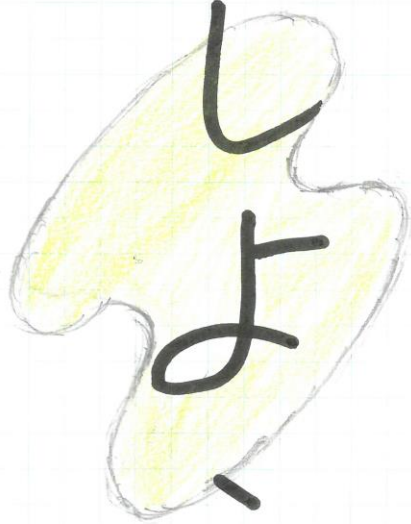
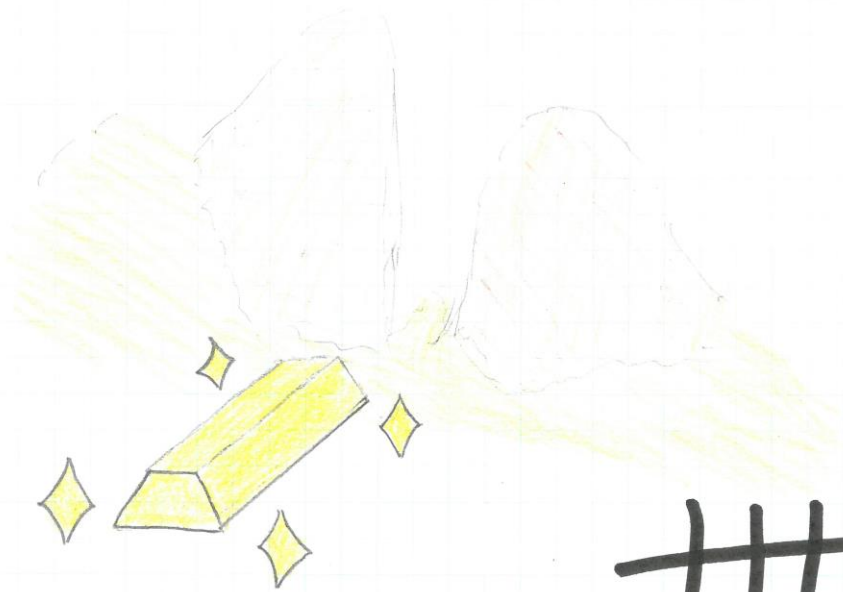
思った事

佐渡の金山の歴史は奥が深い事が分かりました。佐渡の金は幕府を支えていたほどすごいので、世界遺産になるべきだと改めて強く思いました。

佐渡を

世界遺産

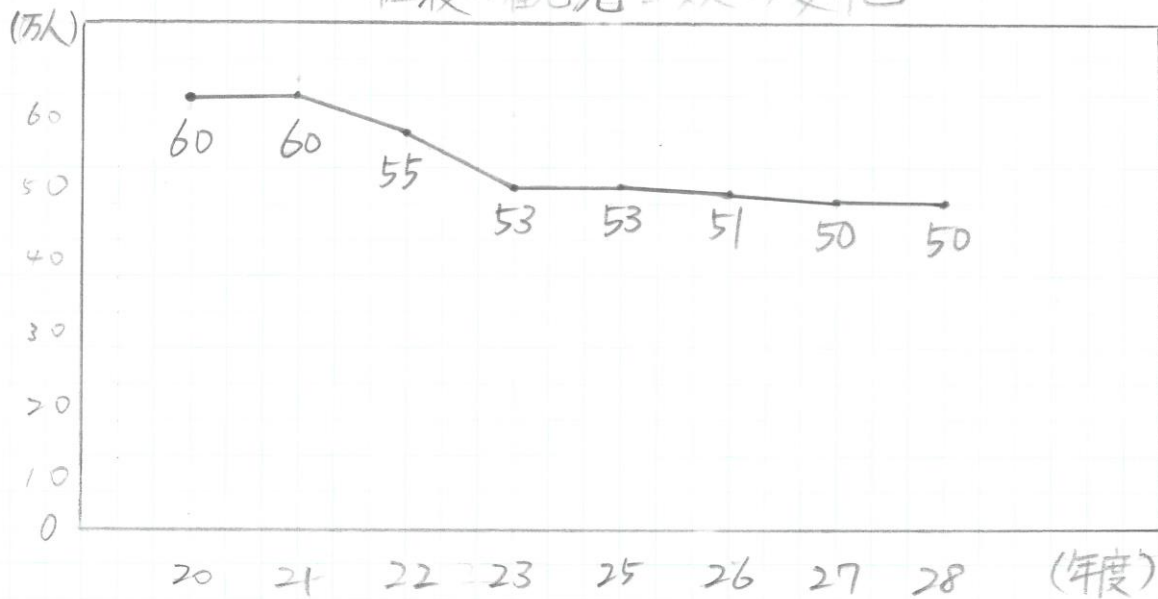
にしよう



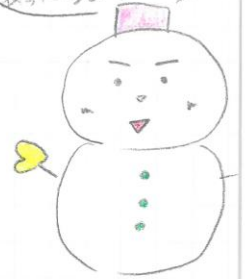
「佐渡の現状を知ろう!!」

佐渡を世界遺産にするためには、多くの観光客に佐渡の魅力を知らせてもらう必要があります。佐渡の観光客数はどのくらいなのでしょう。

佐渡の観光客数の変化



昔は100万人
くらいだった時も
あったらしいよ



佐渡世界遺産推進課の浜野さんに
聞いた!

金山に係のある観光地ランキング

1位 道遊の割戸

2位 佐渡奉行所

3位 宿根木



新穂小の生徒・先生に聞いた!

おすすめの観光地ランキング



生徒 93人中

先生 16人中

1. 金銀山 30人

1. 金銀山 2人

2. トキの森公園 20人

1. 海岸 2人

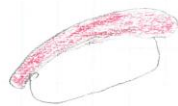
3. すし屋 4人

1. 寺 2人

<人気の理由>

「金銀山」

- 。金がとれるから
- 。昔の事が分かるから
- 。人気だから



など

「トキの森公園」

- 。トキは天然記念物だから

など



「海岸」

- 。景色が良い
- 。きれい

など

「おすすめの寺」

- 。妙宣寺
- 。清水寺



＜佐渡の観光客数のグラフから＞

・年々、観光客数が減っている



もっと観光客をふやすために、多くの人に佐渡の良いところを知ってもらいたい。

＜アンケートから＞

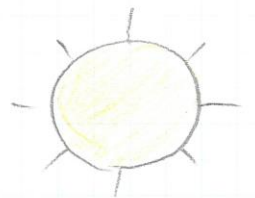
・生徒も先生も金銀山が1位
・海岸や寺なども人気！



予想通り、金銀山が1番人気だった。
しかし、あまり知られていない所にも
魅力がたくさんあった。



佐渡が
世界遺産に
なるといいな。



金銀山を世界遺産にするために、佐渡の
良いところを伝えていきましょう！

佐渡を世界遺産に！

めざせ！ 佐渡博士！

佐渡の歴史（° ◇°）

大化の改新以後の 8 世紀以前に佐渡国が置かれた。順徳天皇、日蓮、日野資朝などが配流された地でもある。

鎌倉時代以降は、本間氏が守護代として佐渡を支配していたが、1589 年（天正 17 年）に上杉景勝の侵攻を受けて滅亡し、上杉氏の支配地となった。

関ヶ原の戦いの後、佐渡は徳川家の支配地となった。1601 年（慶長 6 年）には佐渡金山が発見された。佐渡では、それ以前の戦国時代中期頃から、鶴子銀山等で銀が採掘されていたが、佐渡金山の金の産出量は群を抜いて多く、そのため、江戸幕府は、藩を置かずに佐渡を天領と

して、佐渡奉行所を相川に置き、幕府自ら直接統治を行った。明治維新では戦火を免れた。明治以降は佐渡県、後に相川県が置かれたが、1876年（明治9年）、新潟県に編入された。「Wikipediaより引用」

佐渡といえばトキ！＼(ﾟ ｡ ｡)／(／｡ﾟ)／

トキクイズ

Q もしも、トキの羽を拾ったら自分のものにしていい○か×か？

A. ○

正解は、○です。トキの羽は、拾った人が自分のものにしていいそうです。ただし「種の保存法」で、トキを保護したりだれかに譲ったりしてはいけないという決まりがあるので気を付けてください。

（拾った羽を誰かにあげるのは、禁止されています！）



トキふれあいプラザのトキ「いなほ」の名づけ親は、新穂小学校なんです！（写真いなほ）

「佐渡を世界遺産に！」

佐渡は魅力の宝島

佐渡のどんな場所が人気でしょうか？

佐渡の観光スポットランキングトップ5

- | | |
|----|--------------|
| 1位 | 佐渡金山遺跡 |
| 2位 | トキの森公園 |
| 3位 | 佐渡西三川ゴールドパーク |
| 4位 | 千石船の里宿根木 |
| 5位 | 二ツ亀海水浴場 |

佐渡の観光スポットランキングTOP10ーじゃらんnetより引用

**佐渡の観光スポットランキングには、入っていないのですが
私たちが住んでいる新穂にもすごい山があるのです。その山
は新穂銀山です！**



新穂の山奥に遺構を残す謎多き銀山

トキ放鳥地点の奥山に位置し、「鶴子銀山」とほぼ同時期に採掘が始まったと推測される銀山で、別名「滝沢銀山」。江戸時代の記録や絵図が残されているものの、発見された年代が不明であり謎の多い銀山です。今は住む人も少なくなった山中ですが、往時は「滝沢千軒」と呼ばれるほどの賑わいを見せていました。「百枚間歩」「黄金間歩」などの遺構が残ります。

新穂銀山 | さど観光ナビ



新穂銀山は、あまり知られておらず謎の多い銀山ですが、景色がきれいで秋に行くとききれいな紅葉が楽しめます。こんなに魅力のある銀山に行かないのは損です！ぜひ新穂銀山に行ってみてください。【新穂小学校 6 年生】



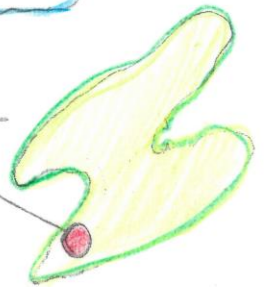
佐渡を世界遺産にしよう!



こんにちは!
私は「佐トモ」っていうよ♪
今回は西三川砂金山について
おしえにきたんだ〜✿
じゃあさっそく行ってみよう!



西三川
砂金山

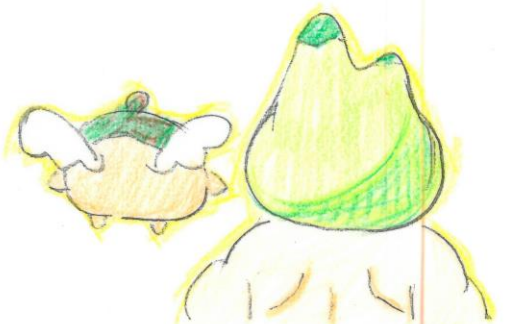


佐渡の金の歴史はこの山から。
平安時代(約千年前)に書かれた
「今昔物語集」には、佐渡に渡り
20日余りで「1000両」もの金
を持ち帰ったという記述があ
るよ。
それがこの西三川だ、た
言われているみたい。

佐渡は平安時代のころから
金が取れた!

他にも2種類の

ホスターがあるよ。
ぜひみてね✿

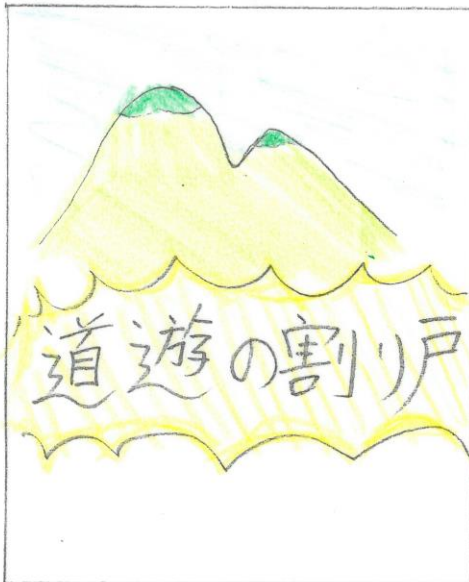


佐渡を世界遺産にしよう!



こんにちは!
おれは「佐山」! 今回は相川金銀山に
ついて教えに来たぜ!

じゃあさ、そく相川金銀山の歴史を
見ていこう!



佐渡の金山、と言われてます
思いうかぶのは「相川金銀山」!
ここは江戸時代に入、これから、
本格的な開発が始まったよ。
大量に生産された金や銀は、
国のお金として幕府を支えた
んだ。

江戸幕府にとって、佐渡は欠かせない
存在だったんだ!!



あとの2種類も
見てみてくれよ!



佐渡を世界遺産にしよう!

こんにちは! うち「おけさ」★
うちは、鶴子銀山(つるしぎんざん)
について、教えにきたよセ



鶴子銀山には、日本中からたくさんの方が
銀を求めて集まってきたんだよ!

鶴子銀山の尾根や沢に600
カ所以上の採掘の跡が確認さ
れたらしいよ!!

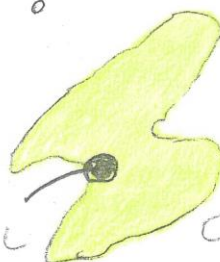
また、鉛を使って鉛石から銀山
(現在の島根県)からもたられ
ました。

鉛石

銀黒

金と銀が含まれて
いる。

ほかにも...



つるし
銀山

ツア-

ぜひ行って
みてね!

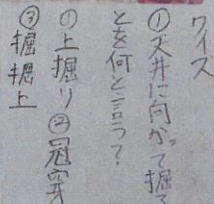


新聞

編集者
土平根文郎

鉛石を掘る場合、土田箸といふ鉄製の

八廿二で夕がネ元を押さえます。
 この竹箆は信州の上田銀山からやつて
 ま千大工たちが持参したものと云ふ
 沼の古銀山から採入られたと言われ
 ています。
 鉛鉄は「立合」と言ひそれに向つて掘
 ることを「引寄」と言ひます。このほか
 天井に向かつて掘ると「冠寄」と言
 います。地面に向かつて掘ると「土寄」と
 言ひます。
 かたい鉛石を掘るため、2日程度
 わががネはすり減てしまうほど。



- 1 石少金を含む山の土を
手掘りくくす
- 2 掘り出した土に爆に
ためいた水を少し
よく流して不要な土砂
をとり除く(ス流し)
- 3 切り板を使ひて砂金をと

想 金銀山の採掘
感 方法もわからな
く、天井に向か
掘ることとを希望
地面に向かて掘る
ことを口實とし
うことになり
ました。

金山の探検

新聞

編集者
長尾結

金山よ
どん
なと
こ

金山には三つのコースがあります。
一つ目は宇太坂コースの中にはいりやすいようになっています。
二つ目は道が荒れていす中では右のコースが道が荒れていす中では右のコースが
三つ目は最も荒れたコースで左のコースが最も荒れたコースです。
比々本堂には有名な黒い石の祠があります。
比々本堂には有名な黒い石の祠があります。



金はもともと。

金はもとより少くすまて内蔵に見え
もののなです。
磁石をすりつぶして粉にするとな
黒い色になるので黒いものか
金と区別できるのです。



2
すし黒く
なでる
おたけい
あり
あへん
金



ト口は、こゝのトンネル
から出てきていました。
そこはおまゝが流れるので風がすくなく
いました。外と中では気温がさうな
く、体のおまゝさうな感じです。

佐渡金銀山概要

新聞

編輯者
平岡 杏村

佐渡金山は、160年に山師三人により開山されたといえられてゐます。
1603年には徳川幕府直轄の天領として佐渡奉行所が置かれ小判の製造も行われ江戸幕府の財政を支えました。
平成元年に資源枯竭のため採を休止し長い歴史の幕を閉じました。

年	1889	1894	1899	1904	1909
三人の山師により開山された。	葛布町が天領として佐渡奉行所を置く。	西洋人技術者を招いて機械化近代化	宮内少御料局管轄の財産となり	日本産業の近代化に貢献した。	早最大級の新金山として拡大発展した。

戦後にながら資源枯竭のため、38年の閉山に
結果を閉じた。

佐度金山

新聞

編集者
高野 誠人

金の不思議義

金



鉄の二、五倍アルミの七倍も重い。
金より重し、銀より重し、銅より重し、鉄より重し、アルミより重し。

②の金は約三トの金糸に伴ひま

その金は約一坪、重二枚(三三 $\frac{1}{2}$ m²)の
金箔に入ります。



④ 八五に精ひる
自暴も酸化しにく(錆びず)です。永遠の光
きを保ちます。
砂金は山金に比べると純度も高く九十九%で
二十四%になるわけですが、九十九%を越えざる
のも多く、特に北海道の砂金地になると純度
が百%に近いものまであります。
こんな物かあんなにゴージャスな物か



＜相川郷土博物館＞

日本最大級の金銀山

日本最大の金山でした。

世界遺產候補

史跡佐渡金山には操業停止になるまでの400年間の歴史を語る遺構が残されています。そして熱心に点在する坑道跡などはほんの一角の重要な文化財、史跡、近代産業遺産に指定されています。世界でも例のない大変貴重な遺産です。200年には世界遺産登録リストに記載されます。まがやま佐渡金山がこんなすごい金銀山にたなびてしまったんだ。400年近くの歴史をみていたんだ。尊敬しろっ。世界遺産にはなりたい。



金山の施設

佐渡金銀山

新聞
編集者
岡崎 銀流

まず最初は「無名異坑」この坑道は金山で掘った鉱石を運搬するために掘られた坑道です。その名の通り、掘られている物で昔は漢方薬の名前に使われていたそうです。

※と読めます

次はこの赤レンガが目印の電力発電所跡。昔は左のケーブルで電気を送っていた。

今は中がザラザラになっていて、右下の西窓室のような石垣は明治期最先端の製錬工場。低品位の鉱石を粉砕して水銀を用いて金を回収する施設でしたが、工場はともな金事もあり、さびさびしている人です。



1891(明治24)年に作られたこの工場は、全国で初めての見学者を呼んで、たが、1914年の火災で焼失した。1928年に新設しました。でも第二次世界大戦中に国産金の大半を生産していたので、銅や鉄、鉛などの生産は、またまたに作って停止しました。新しく作られたのに、世間で停止したため、工場長も大赤字だった。

豆知識コーナー

金山の建物には三ツ菱が刻まれています。比叡山も金山に行きた時、ぜひ探して見て下さい。



うわいりど三ツ菱がある。

5. 支援・助成事業

【文化財保存継承事業】

◇高千中学校「文弥人形保存継承」

- ・文弥人形参加者 21 名
- ・8 月 13 日 たかち芸能祭 高千中学校グ
ラウンド
- ・10 月 23 日 文化祭 高千小学校体育館
- ・11 月 12 日 佐渡人形芝居の集い

【伝統文化等保存支援事業】

◇羽茂高等学校「郷土芸能部」

- ・生徒 27 名
- ・7 月 31 日～8 月 5 日
第 41 回全国高等学校総合文化祭 宮城県
名取市

◇佐渡の能を識る会「伝統芸能保存・体験学習」 (保存)

- ・金井地区の「下がりは」の現状と解明復元
(体験学習)
- ・8 月 15 日 能楽と文弥人形体験 能楽堂
参加者：15 名
- ・10 月 30 日 能楽講座（佐渡と世阿弥）
金井中学校 参加者：60 名
- ・11 月 7 日 能楽体験講座 金井中学校
参加者：60 名
- ・12 月 11 日 「下がりは」体験会 金井小
学校 参加者：60 名
- ・12 月 21 日 太鼓体験講座 能楽堂
参加者：10 名
- ・1 月 26 日 地域の伝統行事と下がりは
金井小学校 参加者：60 名

6. 連携事業

【新潟大学人文学部・

佐渡市教育委員会連携協定事業】

シンポジウム

「語りかける佐渡「流人」をめぐる歴史・地理・
文学」

日時 平成 29 年 11 月 25 日（土）

午後 1 時～4 時 45 分

会場 トキのむら元気館

入場者数 205 名

内容

基調講演 流人の来た道－順徳上皇から世阿弥
まで－

講 演 者 長岡工業高等専門学校一般教育科
教授 田中聡氏

基調講演 順徳院伝承から読み解く国中平野の
歴史地理

講 演 者 新潟大学人文学部准教授 堀健彦氏

基調講演 北回路－新しい時代を切り開いた旅
人たち

講 演 者 新潟大学名誉教授 錦仁氏

主催 新潟大学人文学部

共催 佐渡市教育委員会

佐渡学セミナー

第7回「佐渡学セミナー」

日時 平成30年3月10日（土）

午後1時30分～4時30分

会場 金井コミュニティセンター

入場者数 57名

内容

- ・講 演 人工現実技術と子どもの発達
講演者 新潟大学人文学部准教授 白井述氏
- ・講 演 近代和風建築調査について
報告者 佐渡建築士会・佐渡市世界遺産推進課

主催 佐渡市教育委員会

共催 新潟大学人文学部

今回の佐渡学セミナーは音声を録音した。正式な記録・報告は佐渡学センターにおいて作成し、佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センターが発行する「佐渡学セミナー記録集」等に収録し、刊行される予定である。

表現プロジェクト演習 Q

（佐渡のお祭りに参加しよう！）

日時 平成29年9月12日（火）～16日（土）

会場 赤泊地区

新潟大学民俗調査実習

日時 平成29年8月4日（金）～8日（火）

平成30年2月18日（日）～20日（火）

場所 泉地区

7. イベント（共催事業）

- ・宵乃舞（史跡佐渡奉行所跡）
平成29年6月3日（土）～4日（日）
- ・春駒&のろま人形上演会（新穂歴史民俗資料館）
平成29年7月22日（土）～8月14日（月）
- ・白山丸まつり（佐渡国小木民俗博物館）
平成29年7月29日（土）～30日（日）
- ・世界を駆け抜けた偉人一益田 孝一
佐渡鈍翁茶会 二〇一七（史跡佐渡奉行所跡）
平成29年9月23日（土）～24日（日）
- ・第二回 佐渡民謡の祝祭（史跡佐渡奉行所跡）
平成29年10月8日（日）
- ・伝統芸能上演会 佐渡人形芝居の集い
（金井コミュニティセンター）
平成29年11月12日（日）
- ・佐渡國相川ひなまつり
茶会（史跡佐渡奉行所跡）
平成30年3月18日（日）

8. 刊行物

- ・佐渡学センター 年報第9号
- ・第6回 佐渡学セミナー記録集
- ・佐渡ゆかりの人間国宝四人展図録

V. 関係団体

【佐渡市博物館協議会等】

佐渡市博物館協議会では、「佐渡博物館のあるべき姿」について、具体的な基本理念や取り組むべき活用内容を議論した。

第 1 回 佐渡市博物館協議会

平成 29 年 10 月 23 日（月）

協議内容

- ・佐渡市博物館協議会委員の委嘱について
- ・平成 28 年度博物館・資料館の事業並びに決算報告について
- ・平成 29 年度博物館・資料館の重点事業の進捗状況について
- ・平成 29 年度佐渡学推進事業の重点事業の進捗状況について

第 2 回 佐渡市博物館協議会

平成 29 年 12 月 13 日（水）

協議内容

- ・平成 30 年度博物館・資料館管理運営事業の重点計画（案）について
- ・平成 30 年度佐渡学推進事業の重点計画（案）について
- ・佐渡博物館のあるべき姿
- ・民家と土蔵について

VI. 日誌抄

【佐渡博物館】

4月4日 新潟日報
 5日 大野小学校下見
 7日 両津小学校下見
 10日 加茂小学校、新穂小学校下見
 13日 AD車検
 17日 新潟交通新人研修
 21日 教職員新人研修
 22日 両津吉井小学校下見
 23日 両津小学校下見
 25日 新潟交通大阪事務所研修
 29日 宮本常一写真展取材
 6月21日 展示替え
 7月7日 人間国宝四人展オープニング
 17日 中庭古民家調査、金の道トイレ借用
 23日 国立科学博物館、大学院生来館
 24日 中庭冠水、午前は無料入館とした
 27日 ヘリテージマネージャー来館
 31日 消防設備点検
 石川県能美市議会視察
 8月7日 展示替え
 8月10日 観光協会、観光課会議
 15日 ジオ視察視察
 21日 文化庁関係者来館
 23日 金泉小学校下見
 25日 排水作業
 26日 羽茂小学校下見
 29日 世界遺産関係者来館
 31日 長岡市議会市民クラブ
 9月4日 世界遺産推進課
 5日 毛虫駆除、エレベーター点検
 16日 佐渡中等学校教員下見
 25日 展示替え
 28日 県文化行政課
 10月3日 民謡の祝祭準備
 10日 ジオパーク市民講座
 18日 世界遺産関係者
 24日 資料閲覧
 31日 人間国宝四人展最終日
 11月1日 展示替え
 6日 空調切替
 7日 草刈
 11日 ジオパーク関係者、新潟日報

21日 ガラス搬入
 24日 八幡館視察
 25日 コピー機点検
 27日 火災報知機付替え作業
 28日 火災報知機付替え作業
 29日 警備システム増設工事
 30日 火災報知機消防検査
 12月5日 展示替え打合せ
 20日 エレベーター点検
 21日 ヘリテージマネージャー、NHK記者下見
 23日 コピー機点検
 1月26日 大雪により各所通行止め
 28日 館内断水
 2月8日 ジオパーク推進室、シンポジウム講師と来館
 19日 東京文化財研究所来館
 23日 財団会議
 3月6日 財団会議
 10日 チューリッププランター届く
 15日 2F展示替え
 16日 2F展示替え
 17日 企画展示室、展示替えのため大学生来館
 18日 企画展示室、展示替えのため大学生来館

【両津郷土博物館】

記録なし

【相川郷土博物館】

4月17日 展示物の盗難被害にあう（金のレプリカ5枚）
 19日 被害にあった展示ケース内の銀塊と鉾石を移動
 26日 グリーンシグマ館内作業（3F）
 28日 被害にあった展示ケースを徹却（造形社）
 5月21日 ロングライド（8時開館）
 31日 グリーンシグマ館内調査
 6月19日 浜端遺跡の資料調査
 28日 職場体験の下見（学校教育課）
 7月22日 化石の調査（筑波大学）
 24日 大雨の為、午後から休館
 28日 収蔵庫のブレーカーが落ちる

8月1日 職場体験 相川中学校2年生3名
 2日 職場体験 相川中学校2年生3名
 17日 展示中の白須氏の絵画返却
 24日 長野県警飯田署の刑事さん 盗難事件の事で来館
 26日 盗難事件の犯人逮捕
 9月14日 職場体験 金井中学校2年生4名
 11月27日 展示ケースより木型4点佐渡博へ
 12月22日 防犯システム強化工事
 28日 防犯カメラ設置
 1月17日 新潟日報撮影(大乘寺の絵馬)
 2月1日 NHK 撮影 (川上家文書、絵巻)

【史跡佐渡奉行所跡】

4月3日 町方番所・御入用方役所雨漏り
 4日 新潟日報取材
 14日 吟味所白州外の木落下
 17日 物見屋根板2枚落下
 18日 物見屋根板27枚落下
 相川循環バススタンプラリー開始(5月7日まで)
 5月3日 御裁許所にてお客様和釘で手を怪我される
 21日 佐渡ロングライド8時開館
 日放ツーリスト様より奉行所周辺で絵を描く人たちにトイレを使用させてほしい9時15分～14時まで
 24日
 6月1日 宵の舞用スロープ設置13時30分～
 やえす出版取材
 宵の舞準備 お茶会準備
 2日 勝場ねこ流しの水流れなくなる→タンクバルブを開ける
 お茶会(団体 受けない 一般 お役所入場不可勝場のみ)
 3日 宵の舞
 4日 宵の舞
 10日 取材
 コンドールシステム誘導灯交換
 佐渡総合高校生徒5名授業の一環で奉行所外観撮影
 勝場玄関自動ドア故障→午後から業者修理
 17日
 新潟観光ドライブパス 大人2割引
 30日 12月4日まで
 7月4日 新日興業 地方役所モニター取り付け
 7日 新日興業 事務所エアコンチェック

新日興業 事務所エアコン設置工事
 8日 共立テクノ萩野さん他3名 舞台設置下見
 10日 新日興業 勝場電球LEDに交換
 12日 奉行所民謡ライトアップチラシが届く
 ライト設営 イス物見横に置く
 14日 奉行所民謡ライトアップ 8月12日まで
 で金・土・日20時20分
 友好交流バス 8月31日まで
 15日 佐渡友好交流バスを持っている小中学生無料
 17日 金の道 7時30分～着替え場所として寺社溜提供
 17日夜中の豪雨により雨漏り(寺社溜・後入用方役所・定勘定方役所)
 18日 勝場タンク掃除のため水抜き→21日まで
 20日
 21日 テレビ岩手撮影
 UX撮影
 大雨 下相川～鹿伏まで避難勧告 勝場の馬場の辺り屋
 24日 水たまり 臨時休業16時退館
 相川中学校ボランティアガイド8時30分～11時30分 30日
 29日 お客様見学中、2歳児のお子様御役所から陣屋に転落事故
 31日 →館内危険な箇所に看板・注意喚起する
 8月10日 スイーツ企画の道具搬入15時～
 16日 勝場海側陥没発見→報告 コーンを置く
 18日 奉行所ライトアップで使用した発電機撤収
 22日 アルソックお茶会警備の下見
 24日 スイーツ企画打ち合わせ
 9月6日 お茶会会議 7時30分～10時20分
 12日 お茶会用水場作り
 炭納屋外壁割れ始めている
 20日 菊池設備 お茶会用水道工事
 21日 イワイ工務店外壁確認
 22日 お茶会準備
 23日 お茶会
 24日 お茶会
 25日 お茶会片付け 菊池設備流し撤去
 寺社溜・町方番所雨漏り 広間役詰所障子破れ
 28日

10月3日 町方番所雨漏り 民謡の祝祭用舞台
設置→7日まで

7日 民謡の祝祭準備

8日 民謡の祝祭

9日 民謡の祝祭後片付け

13日 勝場ねこ流し用外のバルブ閉める

14日 定勘定方役所近く外側屋根より雨止め
板落下

21日 ラジオ撮影

22日 台風のため幕縛る
台風のための雨漏りにより警報器誤作
動

23日 寺社溜・定勘定方役所・御入用方役所
から広間役支度所まで戸のさん雨漏り
町方番所・地方役所奥湯呑所雨漏り
漆喰壁数か所落下 物見屋根落下

24日 台風による被害片付け

11月4日 お茶会（淡交会）

6日 近藤組工事下見（外壁漆喰落下4か
所）

7日 台風補修工事足場組み（4か所）
広間役宅堀落下部分修繕 役所外壁工
事→足場撤収（15日）

10日 コンドーシステム点検9時30分～

15日 ニューズライン取材14時～15時

16日 電気メーター取り換え工事7時15分
～8時15分

17日 テレビ東京取材

12月5日 近藤組足場設置→物見屋根修理のため
物見屋根補修工事 近藤組他2名（岡
山より業者）

15日 物見屋根補修工事足場撤収

16日 NHK取材下調べ15時30分～

20日 勝場ねこ流し2号機 頭舂水抜き

23日 アルソック玄関空間センサー確認11
時

25日

29日 ～1月3日まで休館

1月4日 御役所陣屋側廊下戸のビニール2枚分
破損

5日 奉行所の外駐車場案内板破損

25日 寒波によりトイレの水道管凍結

31日 勝場展示ケース電灯取り換え

2月11日 勝場室外機囲い倒れる

15日 御役所井戸側上漆喰壁落ちる

16日 勝場室外機見に来る（イワイ工務店・
新日興業）

19日 地方役所・寺社溜雨漏り

イワイ工務店勝場室外機写真を撮りに
来館

22日 新日興業勝場室外機撤去

26日 役所トイレの戸の鍵故障

28日 Wi-Fi設置のため業者下見
もちや建具 鍵故障を見に来館

相川ひな祭りスタンプラリー開始 3
月18日まで

3月1日 勝場展示ケースプラスチック板落下
御裁許所雨漏り

佐渡の日キャンペーン入館料2割引

3日 （3月3日～5日、10日～12日、17日
～19日、24日～26日まで）

勝場ワックスがけ13時15分～15時
30分

5日 寺社溜・御入用方役所・町方番所雨漏
り 手形改役所～広戸のさん水浸し

7日 御役所幕 取り付け おひな様展示

8日 所長・筑波大学学生1名見学

9日 寺社溜・御入用方役所雨漏り 手形改
役所～広間役支度所まで戸の棧水浸し

14日 新日興業 古いテレビ撤去
電力メーター囲い修理

トーシスWi-Fi関係下見

16日 弾正さん お雛様展示（やまきホテル
所有）

17日 イワイ工務店勝場室外機穴塞ぎ工事
お茶会準備（淡交会）
お茶会（淡交会）お茶代¥300 入館無
料

18日 雛人形片付け、NHK取材

19日 お茶会道具片付け

22日 弾正さん お雛様片付け

22日 Wi-Fi工事（トーシス）

25日 お役所内・受付横・物見・休憩室パ
ルサン

27日 佐渡テレビ・新日興業 Wi-Fi関
係工事下見

29日 Wi-Fi工事

30日 西香園砂利下見

【相川技能伝承展示館】

記録なし

【佐渡国小木民俗博物館】

4月 5日 桑の樹等の伐採
 20日 窃盗事件の事情聴取 佐渡西警察
 21日 クイズブック届く
 23日 友の会草刈り
 火災報知器誤作動
 26日 コンドールシステム確認→原因不明
 5月 9日 事務所の伝建書類を山車小屋へ
 16日 千石船展示館の大戸打ち合わせ
 22日 大戸の修繕 足場が組まれる
 24日 千石船展示館の非常口ドアノブ取替
 25日 事務所エアコン設置 中務商店
 6月 1日 八重洲出版撮影
 9日 友の会草刈り
 15日 白山丸の中に立入禁止トラロープ
 20日 体育館にスロープ工事 中野建設
 23日 宮本常一写真展準備
 26日 アルソック点検
 7月 4日 千石船展示館TVモニター交換
 テクニカルノート
 5日 事務所のコピー機修理 新潟交通商事
 12日 大戸修理
 15日 友の会草刈り
 17日 友の会草刈り
 24日 アルソック点検
 27日 佐渡学職員 白山丸まつりの準備
 30日 白山丸まつり
 31日 工作室の戸 鍵を修理
 8月10日 株式会社ウィンサイト プロモ撮影
 EC (アース)大学の先生と生徒
 16日 はんざり使用
 ECの為、大学の先生と生徒はんざり
 18日 使用
 ECの為、大学の先生と生徒はんざり
 19日 使用
 20日 NHK国際放送撮影
 ECではんざりと3年生教室使用
 22日 NHK国際放送撮影
 23日 NHK撮影
 窃盗事件の事情聴取 三重県警
 31日 新潟日報取材
 9月 5日 宮本常一展終了 パネルの撤収
 19日 コンドールシステム 消防設備点検
 26日 寄贈品受け取り(丸山竹工所)
 10月20日 友の会草刈り
 23日 台風で山車小屋の看板はずれる
 倉庫のガラスが割れる→小木工務店
 12月12日 海運の借用品返却作業

19日 海運の借用品返却作業
 1月23日 受付出入口に雨水がたまる
 2月23日 収蔵庫の屋根 瓦が落ちる 報告
 強風の為外トイレ横倒木
 3月 1日 山車小屋の大戸修繕→小木工務店
 8日 西香園 見積もり
 不要なテレビ・冷蔵庫処分
 9日 テクニカルノート

【海運資料館】

記録なし

【新穂歴史民俗資料館】

4月 9日 野鳥の会打合せ、搬入
 14日 野鳥の会打合せ
 18日 総合高校「おこし型」見学
 22日 打合せ
 24日 草刈、展示替え作業
 25日 新潟日報取材
 29日 野鳥の会説明会、読売新聞取材
 5月 2日 サドテレビ取材
 5日 打合せ
 10日 打合せ
 21日 打合せ
 23日 のろまん形上演
 26日 電気保安協会定期点検
 27日 裂き織り打合せ
 31日 佐渡の石仏展実行委員会会場下見
 6月 8日 能面対応
 鬼面写真撮影
 11日 のろまん形上演(入間交流会)
 17日 打合せ
 27日 吉井地区公民館活動下見
 7月 6日 消化検査
 13日 友の会会議
 18日 友の会草刈、のろま作品展示、麦僊展
 示替え
 22日 打合せ、のろまん形上演
 23日 のろまん形上演
 29日 のろまん形上演
 30日 のろまん形上演
 8月 5日 のろまん形上演
 6日 のろまん形上演
 9日 友の会打合せ会議

11 日 のろまん形上演
 12 日 のろまん形上演
 13 日 のろまん形上演
 19 日 打合せ、新穂のおもてなし
 20 日 新穂のおもてなし
 22 日 真野小下見、セコム工事
 24 日 のろま展示片付け
 29 日 裂き織り打合せ
 9 月 2 日 トライアスロン
 5 日 打合せ
 8 日 裂き織り講習会準備
 9 日 裂き織り講習会
 11 日 麦僊展示替え
 18 日 石仏展打合せ、裂き織り打合せ
 21 日 東北電気保安協会点検
 22 日 中学校駅伝大会トイレ使用
 23 日 打合せ
 24 日 のろまん形取材撮影（新潟日報）
 28 日 文化財審議委員会
 29 日 文化財審議委員会
 10 月 8 日 夕映え市
 9 日 石仏展打合せ、裂き織り展
 15 日 新穂地区駅伝大会
 21 日 打合せ
 24 日 打合せ
 26 日 公民館職員見学
 11 月 1 日 佐渡の石仏展オープニング
 4 日 読売新聞取材
 11 日 石仏解説日
 12 日 地区展
 23 日 石仏解説日
 24 日 松田設備メーター交換
 26 日 石仏展最終日
 29 日 銀山会議
 12 月 14 日 裂き織り活動
 17 日 裂き織り活動
 1 月 11 日 裂き織り活動
 18 日 土田麦僊展示品撤収作業
 2 月 8 日 裂き織り活動
 22 日 裂き織り活動
 26 日 土田麦僊作品展示作業
 3 月 1 日 新穂写彩の会写真展開催
 9 日 新潟日報取材
 24 日 打合せ
 30 日 電気工事

【赤泊郷土資料館】

記録なし

佐渡学センター年報

第9号（平成29年度版）

編集・発行 佐渡学センター
〒952-1311
新潟県佐渡市八幡 2041 佐渡博物館内
TEL 0259-52-2447

発行年月日 平成30年3月31日
